

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医学史		授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	1 学年	時間数（単位数）	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>これまでの学校教育で学んできた社会科「歴史」という流れを追いながら、医の歴史を並列の関係に追っていく。「ある過去」に生きた人間たちが、生死をどのようにとらえ、医に取り組んだかをPowerPointによる画像データおよび解説により学んでいく。</p> <p>その中には、医とは関係のないように見える思想史も含む。医は思想の上に立つものである。これらの知識は暗記するものではなく、人生を豊かにするツールの1つとして、学んでいただければ考える。</p>					
到達目標	<p>医の歴史を学ぶことにより、これから3年間で目指す「医療人」を多角的かつ広い視野から捉え、医療とは何かといったその本質を考える素地とすることを目的とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>・授業時プリント配布</p>					
単位認定方法	<p>・下記の基準に従って総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への出席、ならびに授業への取り組み態度に対する評価 2. 学習課題に対するレポートの提出および内容評価 3. 定期試験による評価 <p>・出席が授業実施時数の3分の2以上であること</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医学史			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	人類の起源（先史時代）①						配布資料
2	4月15日	人類の起源（先史時代）②						配布資料
3	4月22日	世界 4 大文明						配布資料
4	5月6日	古代ギリシアの医学						配布資料
5	5月13日	古代ギリシアの医学者ヒポクラテス						配布資料
6	5月20日	古代ローマの医学 ガレノス						配布資料
7	5月27日	古代中国の医学						配布資料
8	6月3日	日本の医学（先史時代～古代）						配布資料
9	6月10日	日本の医学（古代①）						配布資料
10	6月17日	日本の医学（古代②）						配布資料
11	6月24日	日本の医学（古代③）						配布資料
12	7月1日	日本の医学（古代④）						配布資料
13	7月8日	日本の医学（古代⑤・中世・近世）						配布資料
14	7月15日	試験前まとめ						配布資料
15	8月5日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 1		授業形態	講義	担当教員	永田 英二
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>人体を構成する要素について学び、個々の構成成分が一定の形態を保ち、そのうえで相互に機能を分担していることを学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動器としての骨の役割、骨の形、構造や存在位置、関節、それを補強する靱帯 ・筋の種類と存在位置、骨格筋の起始・停止、筋の形態が対応する運動 ・秩序ある生命活動として個体を営むために、器官系を連絡する神経系 ・感覚受容器の位置、形態と構造、機能、刺激が神経興奮として脳で知覚されるまでの経路 					
到達目標	<p>柔道整復師として医療の一端を担うにあたり、必要な人体の構造（かたち、つくり、しくみ）を徹底的に考察する姿勢を身につけ、それを習得することを目指す。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>相磯貞和 ネット解剖学アトラス 南江堂 伊藤隆 解剖学講座 南山堂 坂井建雄、河原克雅 カラー図解 人体の正常構造と機能 日本医事新報社 永田英二 解剖生理学 ヘルス・システム研究所</p>					
単位認定方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への出席、ならびに授業への取り組み態度に対する評価 2. 学習課題に対するレポートの提出および内容評価 3. 不定期の小テストによる評価 4. 定期試験による評価 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	医学博士					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 1			授業形態	講義	担当教員	永田 英二
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	解剖学総論						
2	4月19日	細胞形態と内部構造						
3	4月26日	細胞周期・細胞分裂						
4	5月10日	組織と器官（系）						
5	5月17日	頭蓋を構成する骨						
6	5月24日	脊柱・胸郭を構成する骨						
7	5月31日	上肢の骨						
8	6月7日	上肢の関節						
9	6月14日	下肢の骨						
10	6月21日	下肢の関節						
11	6月28日	頭・頸・胸部の筋						
12	7月5日	腹部・背部の筋						
13	7月12日	上肢の筋						
14	7月19日	下肢の筋						
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 1			授業形態	講義	担当教員	永田 英二
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	神経系総論						
2	10月11日	中枢神経系の外観						
3	10月18日	脳室系と髄液・髄膜						
4	10月25日	脳の構造と機能						
5	11月1日	脳幹の構造と機能						
6	11月8日	脊髄の構造と区分						
7	11月15日	下行性伝導路						
8	11月22日	上行性伝導路						
9	11月29日	上行性伝導路（特殊感覚）						
10	12月6日	脳神経の構造と機能						
11	12月13日	脊髄神経の構造と機能						
12	12月20日	脊髄神経の構造と機能						
13	1月17日	自律神経						
14	1月24日	自律神経						
15	2月7日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	1. 人体を構成している細胞や組織の構造を理解した上で、生命の営みの元である諸器官の構造を総合的に理解する。 2. 臨床の場で求められる解剖とは、個々の器官についての知識だけでなく、周囲の構造物との関わり、すなわち局所解剖であることを理解する。					
到達目標	人体の構造を理解し、臨床医学を理解する上の基礎を培うことが目標となる。 単なる名称の暗記ではなく、その構造の意味を常に考え、理解するよう心がけること。					
使用テキスト 参考文献 教材	解剖学 (社) 全国柔道整復学校協会監修 配布プリント					
単位認定方法	定期試験による 60点未満の者は既定の流れに沿って再試験を実施する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	医師 (整形外科勤務)、博士 (医学)、医学部・歯学部教員歴あり (解剖学教室)					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	脈管系1						教科書
2	4月15日	脈管系2						教科書
3	4月22日	脈管系3						教科書
4	5月6日	脈管系4						教科書
5	5月13日	脈管系5						教科書
6	5月20日	脈管系6						教科書
7	5月27日	脈管系7						教科書
8	6月3日	脈管系8						教科書
9	6月10日	消化器系1						教科書
10	6月17日	消化器系2						教科書
11	6月24日	消化器系3						教科書
12	7月1日	消化器系4						教科書
13	7月8日	消化器系5						教科書
14	7月15日	消化器系6						教科書
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	呼吸器系1						教科書
2	10月14日	呼吸器系2						教科書
3	10月21日	呼吸器系3						教科書
4	11月4日	泌尿器系1						教科書
5	11月11日	泌尿器系2						教科書
6	11月18日	泌尿器系3						教科書
7	11月25日	生殖器系1						教科書
8	12月2日	生殖器系2						教科書
9	12月9日	生殖器系3						教科書
10	12月16日	生殖器系4						教科書
11	12月23日	感覚器系1						教科書
12	1月6日	感覚器系2						教科書
13	1月13日	感覚器系3						教科書
14	1月20日	感覚器系2・内分泌系1						教科書
15	2月3日	試験返却・試験解説・内分泌系2						教科書

2022 年度 柔道整復学科

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔道整復学を学習するための基礎的な知識を学ぶ。 ・ 柔道整復師の業務内容について学ぶ。 ・ 骨損傷についての基礎的な知識を学ぶ。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔道整復学理論の基礎を学び 2, 3 年次で学習する各論の基礎を形成する。 ・ 柔道整復師の業務範囲を学び臨床の場で正しい判断をするための基礎を形成する。 						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔道整復学（理論編）改訂第 6 版 						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	ガイダンス及び概説						教科書・配布資料
2	4月18日	骨組織 1						教科書・配布資料
3	4月25日	骨組織 2						教科書・配布資料
4	5月9日	骨組織 3						教科書・配布資料
5	5月16日	人体に加わる力、損傷時に加わる力						教科書・配布資料
6	5月23日	骨の損傷（骨の形態と機能）						教科書・配布資料
7	5月30日	骨損傷の概説						教科書・配布資料
8	6月6日	骨損傷の分類 1						教科書・配布資料
9	6月13日	骨損傷の分類 2						教科書・配布資料
10	6月20日	骨折の症状（全身症状）						教科書・配布資料
11	6月27日	骨折の症状（全身症状）						教科書・配布資料
12	7月4日	骨折の症状（局所症状）						教科書・配布資料
13	7月11日	骨折の症状（局所症状）						教科書・配布資料
14	7月25日	前期総括						教科書・配布資料
15	8月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	骨折の合併症（併発症）						教科書・配布資料
2	10月17日	骨折の合併症（併発症）						教科書・配布資料
3	10月24日	骨折の合併症（続発症）						教科書・配布資料
4	10月31日	骨折の合併症（後遺症）						教科書・配布資料
5	11月7日	骨折の癒合日数						教科書・配布資料
6	11月14日	骨折の治癒経過 1						教科書・配布資料
7	11月21日	骨折の治癒経過 2						教科書・配布資料
8	11月28日	骨折の予後						教科書・配布資料
9	12月5日	骨折の治癒に影響を与える因子						教科書・配布資料
10	12月12日	小児骨折						教科書・配布資料
11	12月19日	小児骨折						教科書・配布資料
12	12月26日	小児骨折						教科書・配布資料
13	1月16日	高齢者骨折						教科書・配布資料
14	1月23日	高齢者骨折						教科書・配布資料
15	2月6日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次	1 学年	時間数（単位数）	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	筋・腱・靱帯・神経・リンパ系・皮膚の損傷等の関節損傷や軟部組織損傷の基礎的な理解とそれに対する処置を学ぶ。さらに軟部組織損傷の治癒過程について理解する。						
到達目標	脱臼・関節損傷・軟部組織の概念や損傷の状態に対する知識の定着。さらに、実際の臨床での柔道整復師業務に必要な損傷組織の状態と治癒過程を思考する能力の獲得を目標とする。						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学（理論編）改訂第6版						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	整形外科内科診療所勤務 柔道整復師専科教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	関節の構造と機能①						柔道整復学・理論編
2	4月20日	関節の構造と機能②						柔道整復学・理論編
3	4月27日	脱臼総論① 概説						柔道整復学・理論編
4	5月11日	脱臼総論② 分類						柔道整復学・理論編
5	5月18日	脱臼総論③ 症状・合併症						柔道整復学・理論編
6	5月25日	脱臼総論④ 整復障害・予後						柔道整復学・理論編
7	6月1日	関節損傷総論①						柔道整復学・理論編
8	6月8日	関節損傷総論②						柔道整復学・理論編
9	6月15日	関節損傷総論③						柔道整復学・理論編
10	6月22日	関節損傷総論④						柔道整復学・理論編
11	6月29日	筋の構造と機能						柔道整復学・理論編
12	7月6日	筋損傷①						柔道整復学・理論編
13	7月13日	筋損傷②						柔道整復学・理論編
14	7月20日	筋損傷③						柔道整復学・理論編
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	前期範囲復習テスト						柔道整復学・理論編
2	10月12日	腱の構造と機能						柔道整復学・理論編
3	10月19日	腱損傷①						柔道整復学・理論編
4	10月26日	腱損傷②						柔道整復学・理論編
5	11月2日	腱損傷③						柔道整復学・理論編
6	11月9日	靱帯損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
7	11月16日	筋損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
8	11月30日	腱損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
9	12月7日	神経の機能と構造						柔道整復学・理論編
10	12月14日	神経の損傷①						柔道整復学・理論編
11	12月21日	神経の損傷②						柔道整復学・理論編
12	1月11日	神経の損傷③						柔道整復学・理論編
13	1月18日	総まとめ						柔道整復学・理論編
14	1月25日	総まとめ						柔道整復学・理論編
15	2月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 3		授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>コメディカルとして、医療面接、各部位に対する可動域・筋力測定法、徒手検査法について座学、実技を交えながら学ぶ。</p> <p>また、柔道整復師としての業務範囲である、骨折・脱臼・捻挫・挫傷・打撲に対する処置および、後療法(使用目的、禁忌等)、指導管理、外傷予防についても学ぶ。</p>					
到達目標	<p>柔道整復師の仕事内容である、医療面接、整復、固定、後療法、指導管理、外傷予防について学び臨床に出るための基礎を形成する。</p> <p>臨床実習、3年時の認定実技審査の為の準備段階として患者の扱いに慣れる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編					
単位認定方法	下記「成績評価方法基準」を満たした学生に単位を認定する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員、接骨院勤務					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 3			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	医療用語①						柔道整復学（理論編）
2	4月18日	医療用語②						柔道整復学（理論編）
3	4月25日	診察①						柔道整復学（理論編）
4	5月9日	診察②						柔道整復学（理論編）
5	5月16日	診察③						柔道整復学（理論編）
6	5月23日	整復法①						柔道整復学（理論編）
7	5月30日	整復法②						柔道整復学（理論編）
8	6月6日	軟部組織損傷の処置①						柔道整復学（理論編）
9	6月13日	軟部組織損傷の処置②						柔道整復学（理論編）
10	6月20日	固定法①						柔道整復学（理論編）
11	6月27日	後療法①						柔道整復学（理論編）
12	7月4日	後療法②						柔道整復学（理論編）
13	7月11日	運動療法①						柔道整復学（理論編）
14	7月25日	運動療法②						柔道整復学（理論編）
15	8月8日	試験返却・試験解説						柔道整復学（理論編）

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 3			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	物理療法						柔道整復学（理論編）
2	10月17日	物理療法						柔道整復学（理論編）
3	10月24日	物理療法						柔道整復学（理論編）
4	10月31日	指導管理						柔道整復学（理論編）
5	11月7日	外傷予防						柔道整復学（理論編）
6	11月14日	実技・可動域測定						白衣
7	11月21日	実技・可動域測定						白衣
8	11月28日	実技・可動域測定						白衣
9	12月5日	実技・可動域測定						白衣
10	12月12日	実技・筋力評価						白衣
11	12月19日	実技・筋力評価						白衣
12	12月26日	実技・筋力評価						白衣
13	1月16日	実技テスト						白衣
14	1月23日	実技テスト						白衣
15	2月6日	試験返却・試験解説・再テスト						白衣

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会科学 1	授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	1 学年	時間数（単位数）	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要なトレーニングに関する知識の習得を図っていく。				
到達目標	JATI認定トレーニング指導者資格取得のために必要なトレーニング理論について学習する。				
使用テキスト 参考文献 教材	必要に応じてプリントを配布していく。				
単位認定方法	定期試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）				
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	ガイダンス						プリント
2	4月20日	トレーニング指導者の役割						プリント
3	4月27日	トレーニング計画の立案						プリント
4	5月11日	トレーニング計画の立案						プリント
5	5月18日	筋力トレーニングのプログラム作成						プリント
6	5月25日	筋力トレーニングのプログラム作成						プリント
7	6月1日	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
8	6月8日	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
9	6月15日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
10	6月22日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
11	6月29日	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
12	7月6日	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
13	7月13日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
14	7月20日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	筋力トレーニングの実際						プリント
2	10月12日	筋力トレーニングの実際						プリント
3	10月19日	パワー向上トレーニングの実際						プリント
4	10月26日	パワー向上トレーニングの実際						プリント
5	11月2日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際						プリント
6	11月9日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際						プリント
7	11月16日	スピード向上トレーニングの実際						プリント
8	11月30日	スピード向上トレーニングの実際						プリント
9	12月7日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際						プリント
10	12月14日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際						プリント
11	12月21日	トレーニング効果の測定と評価の実際						プリント
12	1月11日	トレーニング効果の測定と評価の実際						プリント
13	1月18日	測定データの活用とフィードバックの実際						プリント
14	1月25日	測定データの活用とフィードバックの実際						プリント
15	2月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会科学 2		授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会においてなくてはならないのが情報処理技術である。 ・ この授業では、特に医療現場において使用する情報処理技術を学ぶ。 ・ また、著作権法の学習は、ネットワーク社会での被害者・加害者にならないための最低限のスキルでもある。 (文書作成、表計算、プレゼンテーション技術、著作権、個人情報保護、情報セキュリティ)					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータを道具として利用できる基本知識と技術の習得、及び医療現場に必要な最低限のスキルを身につけ、理解する。 ・ 著作権・個人情報保護・セキュリティについて理解する。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めての著作権講座 ・ 自作のテキスト 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内試験 ・ 課題提出 ・ 筆記試験 					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 2			授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	ガイダンス アイスブレイク						筆記用具
2	4月19日	表計算の基礎						テキスト
3	4月26日	表計算の基礎						テキスト
4	5月10日	表計算の応用						テキスト
5	5月17日	表計算の応用						テキスト
6	5月24日	表計算の応用						テキスト
7	5月31日	表計算（授業内課題試験）						テキスト
8	6月7日	プレゼンテーション 基本操作						テキスト
9	6月14日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
10	6月21日	プレゼンテーション（課題提出）						テキスト
11	6月28日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
12	7月5日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
13	7月12日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
14	7月19日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎						テキスト
15	8月2日	試験返却・試験解説						テキスト

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 1		授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次	1 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>包帯固定学の基礎知識とその実技を中心に行う。</p> <p>包帯法は主に巻軸包帯を用いて各関節や患部を想定して、基本・冠名包帯法等を学ぶ。</p> <p>固定法は柔道整復師が従より使用してきた固定材を用いた固定法の実技を行う。</p> <p>また、近年使用されている固定材の特徴や使用方法などについて学習する。</p>					
到達目標	<p>柔道整復師の業務である骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷を施術する際には、整復位の保持や患部の安静などを目的として固定法、患部の治癒過程を促進する後療法がある。</p> <p>その中で固定法を中心とした講義を行う。特に包帯法は柔道整復師の業務では固定法の基礎となり、外傷を扱う上で重要な役割を占めます。この講義では様々な固定法を学び、固定法の重要性を正しく理解し実際に行うことができることを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①包帯固定学 全国柔道整復学校監修 南江堂</p> <p>②各種包帯セット</p>					
単位認定方法	<p>定期実技試験（筆記試験）と出席点の合計が60点以上所得すること</p> <p>※欠席1回3点減点、遅刻3回で3点減点とする</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師、接骨院勤務、整形外科勤務、接骨院開業、専科教員</p> <p>長年にわたる接骨院、整形外科での臨床（実務）経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	ガイダンス・固定法の総論						教科書・実技バッグ
2	4月20日	固定材料の説明・固定具の種類について						教科書・実技バッグ
3	4月27日	包帯の巻き方と注意事項						教科書・実技バッグ
4	5月11日	基本包帯法						教科書・実技バッグ
5	5月18日	基本包帯法						教科書・実技バッグ
6	5月25日	基本包帯法						教科書・実技バッグ
7	6月1日	基本包帯法						教科書・実技バッグ
8	6月8日	基本包帯法						教科書・実技バッグ
9	6月15日	冠名包帯法						教科書・実技バッグ
10	6月22日	冠名包帯法						教科書・実技バッグ
11	6月29日	冠名包帯法						教科書・実技バッグ
12	7月6日	冠名包帯法						教科書・実技バッグ
13	7月13日	実技試験						教科書・実技バッグ
14	7月20日	実技試験						教科書・実技バッグ
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	応用包帯法						教科書・実技バッグ
2	10月12日	応用包帯法						教科書・実技バッグ
3	10月19日	応用包帯法						教科書・実技バッグ
4	10月26日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
5	11月2日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
6	11月9日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
7	11月16日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
8	11月30日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
9	12月7日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
10	12月14日	固定材料の作成と固定例						教科書・実技バッグ
11	12月21日	まとめ						教科書・実技バッグ
12	1月11日	まとめ						教科書・実技バッグ
13	1月18日	実技試験						教科書・実技バッグ
14	1月25日	実技試験						教科書・実技バッグ
15	2月8日	試験返却・試験解説						教科書・実技バッグ

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	職業倫理		授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	1 学年	時間数（単位数）	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>職業倫理とは、特定（専門）の職業を生業としている個人や組織団体（職能団体等）が、その職業において社会的責任や役割を果たすために必要とされる行動の規範や基準であると考えられている。医療を志す者は、その資格創設の経緯から職種としての倫理観を強く意識してきた歴史がある。前期の医学史に引き続き、医療の歴史に触れながら、柔道整復師という職種の歴史にも触れる。また、3年次に授業を受ける社会保障制度について広く学ぶ。</p> <p>柔道整復師の扱う医療制度が、日本の社会保障制度の中のどこに位置するかを確認する。柔道整復師の学校協会発行のテキストを参考に、考えるべきケーススタディを取り上げ、自身が柔道整復師として患者を前にどのような対応が可能であるかを考える。</p>					
到達目標	<p>柔道整復師の社会保険下での制度を理解する。</p> <p>また、われわれ柔道整復師が医療従事者としての使命を全うするために必要なことは何なのか、それぞれの心の内の気づきを得てほしい。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時プリント配布 ・「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」全国柔道整復学校協会 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の基準に従って総合的に評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への出席、ならびに授業への取り組み態度に対する評価 2. 学習課題に対するレポートの提出および内容評価 3. 定期試験による評価 ・出席が授業実施時数の3分の2以上であること 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		職業倫理			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	中世の医学①（解剖学の革命）						配布プリント
2	10月14日	中世の医学②（血液循環、麻酔）						配布プリント
3	10月21日	中世の医学③（顕微鏡・細胞・組織）						配布プリント
4	11月4日	日本の医学（柔道整復師の歴史）						配布プリント
5	11月11日	日本の医学（柔道整復師の歴史）						配布プリント
6	11月18日	日本の医学（柔道整復師の歴史）						配布プリント
7	11月25日	日本の医学（柔道整復師の歴史）						配布プリント
8	12月2日	社会保障を学ぶ理由						教科書
9	12月9日	社会保険制度						教科書
10	12月16日	社会福祉制度						教科書
11	12月23日	国民医療費						教科書
12	1月6日	柔道整復師と療養費						教科書
13	1月13日	職業倫理						教科書
14	1月20日	職業倫理						教科書
15	2月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人文科学 1		授業形態	講義	担当教員	藤 京子
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>○家族の変遷を知り、現代家族の抱えている問題を把握する。</p> <p>○事例検討を通して、治療に来る患者の気持ちに寄りそう。</p> <p>○グループワーク・ビデオ視聴を通して患者の心に触れる。</p> <p>○心理テストを用いて、「自分」を知る。</p>					
到達目標	<p>心理学という学問の背景を知る。また、人（患者）との関わり方等コミュニケーション方法を身に付ける。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>必要な資料・プリント等をその都度配布する。</p>					
単位認定方法	<p>最終試験・小レポート・授業態度・出席の総合評価とする</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人文科学 1			授業形態	講義	担当教員	藤 京子
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	ガイダンス・人間関係						自己効力感テスト
2	4月14日	家 族（さまざまな家族のあり方）						サザエさん一家
3	4月21日	マズローの欲求段階説						
4	5月12日	日本の社会問題						
5	5月19日	干支						
6	5月26日	アセスメント・面接の心得						
7	6月2日	事例検討・来談者中心療法						
8	6月9日	生きるとは？						DVD視聴
9	6月16日	防衛機制						
10	6月23日	ストレス						ストレス耐性度テスト
11	6月30日	虐 待						
12	7月7日	エリザベス・キューブラー＝ロス						DVD視聴
13	7月14日	前期試験 事前説明						
14	7月21日	バーンアウト						バーンアウト尺度テスト
15	8月4日	試験返却・自己成長エゴグラム						自己成長エゴグラム

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人文科学 2			授業形態	講義	担当教員	藤 京子
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>○「認定トレーニング指導者」に必要な基礎理論を学ぶ。</p> <p>○スポーツが、心理面にどのような影響を及ぼすのかを知る。</p> <p>○スポーツを行うことによって生じる、摂食障害について学ぶ。</p>						
到達目標	メンタルトレーニングや動機付けについて学び、スポーツ選手の競技力向上へ活用できるようにすると共に、学んだ内容を自分に置き換えて考えられるようにする。						
使用テキスト 参考文献 教材	随時、必要な資料を配布する。						
単位認定方法	テスト・授業の参加意欲・提出物等、総合的に評価をする。						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験							

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人文科学 2			授業形態	講義	担当教員	藤 京子
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	ガイダンス						ジョハリの窓
2	10月20日	運動と心理						
3	10月27日	発達 (人間の発達区分と年齢)						
4	11月10日	発達 (ピアジェ・ヴィゴツキー・エリクソン)						
5	11月17日	心の健康 (メンタルヘルス)						
6	11月24日	メンタルトレーニング						確認テスト
7	12月1日	動機づけ (やる気・モチベーション)						DVD視聴
8	12月8日	イメージトレーニングとフィードバック						バウムテスト
9	12月15日	摂食障害とスポーツ						行動タイプ診断テスト
10	12月22日	製作						マジック・はさみ
11	1月5日	発達障害						DVD視聴
12	1月12日	パーソナリティとは						外向型・内向型テスト
13	1月19日	後期試験 事前説明						
14	1月26日	知覚・錯視						DVD視聴
15	2月9日	試験返却・試験解説						DVD視聴

2022 年度 柔道整復学科

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生理学 1			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	正常 (健康) なヒトのからだのしくみとはたらきについて学習する。						
到達目標	柔道整復師国家試験に対応できる生理学の知識を習得する。 臨床医学に応用できる生理学の知識を習得する。						
使用テキスト 参考文献 教材	全国柔道整復学校協会 監修, 生理学 (改定第3版), 南江堂。 配布資料 (プリント)						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)						
教員実務の 経験	博士 (医学)、大学教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 1			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	生理学とは						
2	4月19日	生理学とは						
3	4月26日	生理学とは						
4	5月10日	筋の生理学						
5	5月17日	筋の生理学						
6	5月24日	神経の生理						
7	5月31日	神経の生理						
8	6月7日	神経の生理						
9	6月14日	神経の生理						
10	6月21日	神経の生理						
11	6月28日	運動の生理						
12	7月5日	運動の生理						
13	7月12日	運動の生理						
14	7月19日	運動の生理						
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 1			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		1 学年	曜 日	火 曜 日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	感覚の生理						
2	10月11日	感覚の生理						
3	10月18日	感覚の生理						
4	10月25日	感覚の生理						
5	11月1日	感覚の生理						
6	11月8日	感覚の生理						
7	11月15日	内分泌						
8	11月22日	内分泌						
9	11月29日	内分泌						
10	12月6日	内分泌						
11	12月13日	内分泌						
12	12月20日	生殖						
13	1月17日	生殖						
14	1月24日	生殖						
15	2月7日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	保健体育			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	1.礼法（立礼・座礼） 2.準備体操、回転運動 3.受身（後受身・横受身・前回受身） 4.投技（打込、投込、乱取） 5.整理体操						
到達目標	柔道の持つ特性をふまえ、3年時の実技認定試験に必要な基礎的な技能の習得を図ります。 さらに、それらの技能習得を通じ、礼儀、順法といった精神修養も図っていきたいと思います。 基本的には二人一組での対人実技が中心となります。個人差（技術、体力、経験、性、その他） を考慮して授業を進めていきます。						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣						
単位認定方法	実技試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		保健体育			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	ガイダンス						
2	4月14日	礼法（立礼・座礼）						柔道衣
3	4月21日	後受身・横受身						柔道衣
4	5月12日	前回受身・膝車						柔道衣
5	5月19日	大腰						柔道衣
6	5月26日	膝車（移動しながら）						柔道衣
7	6月2日	一本背負投、大腰（移動しながら）						柔道衣
8	6月9日	一本背負投（移動しながら）						柔道衣
9	6月16日	背負投						柔道衣
10	6月23日	背負投（移動しながら）						柔道衣
11	6月30日	釣込腰						柔道衣
12	7月7日	体落・送足払						柔道衣
13	7月14日	釣込腰（移動しながら）						柔道衣
14	7月21日	実技試験						柔道衣
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		保健体育			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	前期復習、体落（移動しながら）						柔道衣
2	10月20日	大外刈						柔道衣
3	10月27日	大内刈						柔道衣
4	11月10日	小内刈						柔道衣
5	11月17日	大外刈（移動しながら）						柔道衣
6	11月24日	大内刈（移動しながら）						柔道衣
7	12月1日	小内刈（移動しながら）						柔道衣
8	12月8日	連絡技（大内刈から体落）						柔道衣
9	12月15日	連絡技（小内刈から背負投）						柔道衣
10	12月22日	連絡技（大内刈から大外刈）						柔道衣
11	1月5日	連絡技（大内刈から小内刈）						柔道衣
12	1月12日	連絡技（背負投から大内刈）						柔道衣
13	1月19日	払腰・内股						柔道衣
14	1月26日	実技試験						柔道衣
15	2月9日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 1		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	45	時間 ・ 1 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師の施術に関し座学および実技・演習等で教授される内容を基に、実際の臨床現場において柔道整復師の一般的業務並びに基礎的・応用的実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や身だしなみ、守秘義務や業務について説明し実際の業務を見学。 ・ 施術内容や物理療法機器の説明。 ・ 院内整理や片付けなどを行う。 					
到達目標	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の誘導 ・ 物理療法機器を実際に体験し使用方法が理解する。 ・ 最低限必要な体表上のランドマークの理解。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 柔道整復学・実技編 臨床実習ガイドライン</p>					
単位認定方法	<p>身だしなみや言葉、態度を身に着け時間を守る。 患者や業務に対し責任ある行動ができる。 院内（院外）の会話において患者のプライバシーの保護に留意できる。 物理療法機器の効果や禁忌が理解する。 以上の到達目標について評価し単位を認定する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 1	授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	・ 指圧、タルクマッサージ、オイルマッサージ、スポーツマッサージの基本手技 (目的、効果、注意点、禁忌の理解) ・ 各手技の実技実習(デモンストレーション→ペアでの実習) ・ 部位別、症状別、目的別の実習				
到達目標	外傷における後療法としてのマッサージ、陳旧性、慢性症状へのマッサージ、 保険適用外(自費診療)にも対応できる為の基本手技の習得を目指す。				
使用テキスト 参考文献 教材	タルク マッサージオイル 資料・教材は都度、適宜配布				
単位認定方法	① 定期実技試験にて60点以上 ② 出席が授業実施時間の2/3以上 上記を共に満たした学生に単位を認定する。				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)				
教員実務の 経験					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	マッサージの目的、注意、手技について。軽擦法						タオル
2	4月14日	軽擦法各手技（上肢）						タオル、タルク
3	4月21日	軽擦法各手技（下肢）						タオル、タルク
4	5月12日	強擦法、揉捏法 各手技						タオル、タルク
5	5月19日	揉捏法 各手技（上肢）						タオル、タルク
6	5月26日	揉捏法 各手技（下肢）						タオル、タルク
7	6月2日	叩打法 各手技						タオル、タルク
8	6月9日	振戦法、圧迫法 各手技						タオル、タルク
9	6月16日	上肢（上腕～手指） 各手技						タオル、タルク
10	6月23日	下肢前面 各手技						タオル、タルク
11	6月30日	伏臥位（うつ伏せ） 全体手技 + 母指圧						タオル
12	7月7日	仰臥位（あおむけ） 全体手技 + 母指圧						タオル
13	7月14日	予備（反復練習、質問など）						タオル、タルク
14	7月21日	前期実技試験						タオル、タルク
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	指圧、オイルマッサージについて目的、効果、注意。 座位指圧						タオル
2	10月20日	座位指圧						タオル
3	10月27日	伏臥位 上肢・体幹（頸、肩、背部）指圧各手技						タオル
4	11月10日	伏臥位 体幹（腰背、臀部）指圧各手技						タオル
5	11月17日	伏臥位下肢（大腿後面～足底）指圧各手技						タオル
6	11月24日	伏臥位（大腿前面～足背足趾）指圧各手技						タオル
7	12月1日	ハンド、首 オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
8	12月8日	下肢後面（膝窩～足底）オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
9	12月15日	下肢前面（膝～足背足趾）オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
10	12月22日	オイルマッサージ復習						マッサージオイル、タオル
11	1月5日	指圧復習、ヘッドマッサージ						タオル
12	1月12日	運動療法、ストレッチ						タオル
13	1月19日	反復練習、質問等						マッサージオイル、タオル
14	1月26日	後期実技試験						マッサージオイル、タオル
15	2月9日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	骨の触診(体幹部)						教科書、白衣
2	4月15日	骨の触診(体幹部)						教科書、白衣
3	4月22日	骨の触診(体幹部)						教科書、白衣
4	5月6日	骨の触診(体幹部)テスト						教科書、白衣
5	5月13日	骨の触診(上肢部)						教科書、白衣
6	5月20日	骨の触診(上肢部)						教科書、白衣
7	5月27日	骨の触診(上肢部)						教科書、白衣
8	6月3日	骨の触診(上肢部)テスト						教科書、白衣
9	6月10日	骨の触診(下肢部)						教科書、白衣
10	6月17日	骨の触診(下肢部)						教科書、白衣
11	6月24日	骨の触診(下肢部)						教科書、白衣
12	7月1日	骨の触診(下肢部)テスト						教科書、白衣
13	7月8日	復習						白衣
14	7月15日	前期期末試験						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	筋の触診(体幹部)						教科書、白衣
2	10月14日	筋の触診(体幹部)						教科書、白衣
3	10月21日	筋の触診(体幹部)テスト						教科書、白衣
4	11月4日	筋の触診(上肢部)						教科書、白衣
5	11月11日	筋の触診(上肢部)						教科書、白衣
6	11月18日	筋の触診(上肢部)						教科書、白衣
7	11月25日	筋の触診(上肢部)						教科書、白衣
8	12月2日	筋の触診(上肢部)テスト						教科書、白衣
9	12月9日	筋の触診(下肢部)						教科書、白衣
10	12月16日	筋の触診(下肢部)						教科書、白衣
11	12月23日	筋の触診(下肢部)						教科書、白衣
12	1月6日	筋の触診(下肢部)						教科書、白衣
13	1月13日	筋の触診(下肢部)テスト						教科書、白衣
14	1月20日	後期期末試験						白衣
15	2月3日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	一般臨床医学 1	授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>一般臨床医学の総論について学習する。</p> <p>具体的な診察の方法・チェックポイント等を学習し、患者の病態把握・診断等を理解する。</p>				
到達目標	<p>日常の臨床で対象となった患者の病態を把握し、適応と限界について判断できる事を目標とする。</p> <p>柔道整復師として必要な診療体系を修得する。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	一般臨床医学 公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修				
単位認定方法	<p>出席と授業に対する姿勢、試験により評価する。</p> <p>必要に応じてレポートの提出を求める。</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	医学博士、大学 医学部 准教授				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		一般臨床医学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	診察概論						教科書・配布資料
2	4月19日	問診						教科書・配布資料
3	4月26日	視診（1）						教科書・配布資料
4	5月10日	視診（2）						教科書・配布資料
5	5月17日	視診（3）						教科書・配布資料
6	5月24日	視診（4）						教科書・配布資料
7	5月31日	打診						教科書・配布資料
8	6月7日	聴診						教科書・配布資料
9	6月14日	触診（1）						教科書・配布資料
10	6月21日	触診（2）						教科書・配布資料
11	6月28日	触診（3）						教科書・配布資料
12	7月5日	触診（4）						教科書・配布資料
13	7月12日	触診（5）						教科書・配布資料
14	7月19日	総括						教科書・配布資料
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		一般臨床医学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	生命徴候 (1)						教科書・配布資料
2	10月11日	生命徴候 (2)						教科書・配布資料
3	10月18日	感覚検査 (1)						教科書・配布資料
4	10月25日	感覚検査 (2)						教科書・配布資料
5	11月1日	反射検査 (1)						教科書・配布資料
6	11月8日	反射検査 (2)						教科書・配布資料
7	11月15日	反射検査 (3)						教科書・配布資料
8	11月22日	代表的な臨床症状 (1)						教科書・配布資料
9	11月29日	代表的な臨床症状 (2)						教科書・配布資料
10	12月6日	代表的な臨床症状 (3)						教科書・配布資料
11	12月13日	代表的な臨床症状 (4)						教科書・配布資料
12	12月20日	代表的な臨床症状 (5)						教科書・配布資料
13	1月17日	検査						教科書・配布資料
14	1月24日	総括						教科書・配布資料
15	2月7日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	運動学 1	授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	1. 運動の表し方をはじめ身体各部位の関節運動を学ぶ。 また、歩行や発達を含め、運動学全般について学習する。 2. 授業内容により、講義および実技室において、体表解剖・実際の運動等、 臨床に直結した内容で実施する。 さらに、ビデオ等の視聴覚教材を使用し、実施する。				
到達目標	局所解剖や体表解剖を基本とした運動学全般を理解するとともに、柔道整復師の臨床に必要な 基本事項を修得する。				
使用テキスト 参考文献 教材	運動学 学校協会 編 (医歯薬出版) 基礎運動学 中村隆一・齋藤宏・長崎浩 著 (医歯薬出版)※参考図書				
単位認定方法	前期試験の結果を重視するが、出欠状況や実技学習の態度も極めて重要である。				
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)				
教員実務の 経験	医学博士、大学 医学部 准教授				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		運動学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	総論－運動学を学ぶために－						
2	4月19日	運動の表し方						
3	4月26日	肩関節の運動						
4	5月10日	肘関節の運動						
5	5月17日	手関節の運動						
6	5月24日	手指関節の運動						
7	5月31日	股関節の運動						
8	6月7日	膝関節・足関節の運動						
9	6月14日	頸椎・胸椎・胸郭および腰椎の運動						
10	6月21日	肩甲帯および顔面部の運動						
11	6月28日	歩行						
12	7月5日	歩行と運動発達・運動学習						
13	7月12日	身体運動と運動力学						
14	7月19日	反射と随意運動						
15	8月2日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	運動学 2	授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	30 時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	・ 骨、関節、筋、神経など人体の構造および機能について学ぶ。 ・ 四肢と体幹の運動について学ぶ。				
到達目標	運動に関する身体の構造と機能の学習を通じ、柔道整復師として必要な基礎を築く。				
使用テキスト 参考文献 教材	教科書「運動学」改定第3版				
単位認定方法	後期試験および小テストの結果で評価する。				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）				
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		運動学 2			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	骨の構造と機能						教科書
2	10月17日	関節の構造と機能						教科書
3	10月24日	骨格筋の構造と機能						教科書
4	10月31日	神経の構造と機能						教科書
5	11月7日	上肢帯の運動						教科書
6	11月14日	肩関節の運動						教科書
7	11月21日	肘、手、前腕の運動						教科書
8	11月28日	股関節の運動						教科書
9	12月5日	膝関節の運動						教科書
10	12月12日	足の運動						教科書
11	12月19日	体幹、脊柱の運動						教科書
12	12月26日	頸椎、胸椎、腰椎、胸郭、骨盤の運動						教科書
13	1月16日	顔面、頭部の運動						教科書
14	1月23日	総括						教科書
15	2月6日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 3	授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習内容	<p>1 年生で学習した「解剖学」の総復習を、授業前テストおよび講義により行う。</p> <p>①授業前に解剖の教科書の範囲を指定したページ内の筆記試験を行う。</p> <p>解答用紙は毎回提出し、前期末試験および後期末試験の点数に加算し評価に加味する。</p> <p>試験未受験の場合および 6 割以下の場合は翌週に再試験を同じ範囲で行う。</p> <p>②前期中に 1 回、後期中に 1 回の中間試験を行う。</p> <p>毎回行う授業前テスト範囲および授業で進んだ範囲から出題する。</p> <p>こちらの点数も前期末試験および後期末試験の点数に加算し評価に加味する。</p>				
到達目標	<p>1 年次に終了した解剖学の内容と生理学の内容を結び付け、1 歩深めた知識の取得を目標とする。</p> <p>とくに、柔道整復師が取り扱うのは筋・骨格系の傷病であるから、基礎となる解剖学のその分野は手を抜くことができない。苦手意識から脱却するためにも、繰り返しの学習の必要性を感じてほしい。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学（社団法人全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社） ・生理学（社団法人全国柔道整復学校協会 監修 株式会社 南江堂） ・授業中の配布プリント 				
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が授業実施時数の3分の2以上により、期末試験の受験を可能とする。 ・期末試験の点数に、授業前テスト、中間試験の点数を合計する。全合計点の6割で合格とする。 				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>8 0 点以上の評価点に『A』, 7 0 ～ 7 9 点の評価点に『B』, 6 0 ～ 6 9 点の評価点に『C』</p> <p>5 9 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>				
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 3			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	神経系（総論）						教科書・配布プリント
2	4月14日	神経系（総論）						教科書・配布プリント
3	4月21日	神経系（中枢）						教科書・配布プリント
4	5月12日	神経系（中枢）						教科書・配布プリント
5	5月19日	神経系（中枢）						教科書・配布プリント
6	5月26日	神経系（中枢）						教科書・配布プリント
7	6月2日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
8	6月9日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
9	6月16日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
10	6月23日	中間試験						
11	6月30日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
12	7月7日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
13	7月14日	神経系（末梢）						教科書・配布プリント
14	7月21日	神経系（生理学）						教科書・配布プリント
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 3			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	神経系の機能						教科書・配布プリント
2	10月20日	運動の生理						教科書・配布プリント
3	10月27日	運動の生理						教科書・配布プリント
4	11月10日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
5	11月17日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
6	11月24日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
7	12月1日	中間試験						教科書・配布プリント
8	12月8日	脈管系（静脈）						教科書・配布プリント
9	12月15日	脈管系（静脈）						教科書・配布プリント
10	12月22日	脈管系（リンパ系）						教科書・配布プリント
11	1月5日	血液の生理学						教科書・配布プリント
12	1月12日	血液の生理学						教科書・配布プリント
13	1月19日	心臓の解剖						教科書・配布プリント
14	1月26日	心臓の解剖						教科書・配布プリント
15	2月9日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	外科学概論			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	外科学全般 外傷やショック、麻酔や消毒など。						
到達目標	外科学を全般的に学び、国家試験の合格につなげるとともに、 日常診療の場でもその知識を活かせるようにする。						
使用テキスト 参考文献 教材	教科書は、南江堂の「外科学概論」改訂第4版（全国柔道整復学校協会監修）を使用。 他に必要な資料を適宜、プリント等で配布する。						
単位認定方法	出席と試験が基本。 他に必要に応じて、レポート提出。 出席は授業実施時数の3分の2以上とする。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	大学講師・診療部長、医学博士						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		外科学概論			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	外科学とは						
2	4月14日	損傷、熱傷						
3	4月21日	炎症、外科感染症（1）						
4	5月12日	炎症、外科感染症（2）						
5	5月19日	腫瘍（1）						
6	5月26日	腫瘍（2）						
7	6月2日	ショック						
8	6月9日	輸血、輸液（1）						
9	6月16日	輸血、輸液（2）						
10	6月23日	消毒、滅菌						
11	6月30日	手術						
12	7月7日	麻酔（1）						
13	7月14日	麻酔（2）						
14	7月21日	移植						
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		外科学概論			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	止血（1）						
2	10月20日	止血（2）						
3	10月27日	心肺蘇生法						
4	11月10日	意識障害、けいれん						
5	11月17日	頭部、顔面外傷						
6	11月24日	脳卒中						
7	12月1日	甲状腺・頸部疾患						
8	12月8日	胸壁・呼吸器疾患（1）						
9	12月15日	胸壁・呼吸器疾患（2）						
10	12月22日	心臓・脈管疾患（1）						
11	1月5日	心臓・脈管疾患（2）						
12	1月12日	乳腺疾患						
13	1月19日	腹部外科疾患（1）						
14	1月26日	腹部外科疾患（2）						
15	2月9日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道 1			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	1.礼法（立礼・座礼） 2.準備体操・回転運動 3.受身（後受身・横受身・前回受身） 4.投技（打込、投込、乱取） 5.整理体操						
到達目標	柔道の持つ特性をふまえ、3年時の実技認定試験に必要な基本技能及び投の形の修得を図ります。 さらに、それらの技能修得を通じて、礼儀、遵法といった柔道整復師にとって必要な精神修養も 図っていききたいと思います。						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣						
単位認定方法	実技試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 1			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	1 年時の復習（礼法、受身、投げ技）						柔道衣
2	4月15日	体落（前移動）						柔道衣
3	4月22日	体落、払腰（横移動）						柔道衣
4	5月6日	体落、払腰（横移動）						柔道衣
5	5月13日	出足払（前移動）						柔道衣
6	5月20日	出足払（後移動）						柔道衣
7	5月27日	大外刈（後移動）						柔道衣
8	6月3日	小内刈（後移動）						柔道衣
9	6月10日	小内刈（横移動）						柔道衣
10	6月17日	大外返						柔道衣
11	6月24日	大内返						柔道衣
12	7月1日	小内返（小内刈を膝車で返す）						柔道衣
13	7月8日	つばめ返						柔道衣
14	7月15日	実技試験						柔道衣
15	8月5日	試験返却・試験解説						柔道衣

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 1			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	投の形（浮落）						柔道衣
2	10月14日	投の形（浮落）						柔道衣
3	10月21日	投の形（背負投）						柔道衣
4	11月4日	投の形（背負投）						柔道衣
5	11月11日	投の形（浮腰）						柔道衣
6	11月18日	投の形（浮腰）						柔道衣
7	11月25日	投の形（払腰）						柔道衣
8	12月2日	投の形（払腰）						柔道衣
9	12月9日	投の形（釣込腰）						柔道衣
10	12月16日	投の形（釣込腰）						柔道衣
11	12月23日	投の形（送足払）						柔道衣
12	1月6日	投の形（送足払）						柔道衣
13	1月13日	投の形（支釣込足）						柔道衣
14	1月20日	実技試験						柔道衣
15	2月3日	試験返却・試験解説						柔道衣

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	基本包帯(デゾー包帯)						白衣・包帯
2	4月20日	基本包帯(デゾー包帯)						白衣・包帯
3	4月27日	基本包帯(デゾー包帯)テスト						白衣・包帯
4	5月11日	基本包帯(手関節～肘関節)						白衣・包帯
5	5月18日	基本包帯(手関節～肘関節)						白衣・包帯
6	5月25日	基本包帯(手関節～肘関節)テスト						白衣・包帯
7	6月1日	基本包帯(肘関節～肩関節)						白衣・包帯
8	6月8日	基本包帯(肘関節～肩関節)						白衣・包帯
9	6月15日	基本包帯(肘関節～肩関節)テスト						白衣・包帯
10	6月22日	基本包帯(足関節～膝関節)						白衣・包帯
11	6月29日	基本包帯(足関節～膝関節)						白衣・包帯
12	7月6日	基本包帯(足関節～膝関節)テスト						白衣・包帯
13	7月13日	前期期末試験						白衣・包帯
14	7月20日	前期期末試験						白衣・包帯
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	第5指中手骨骨折、第2指PIP関節脱臼						白衣・包帯
2	10月12日	第5指中手骨骨折、第3指PIP関節脱臼						白衣・包帯
3	10月19日	第5指中手骨骨折、第4指PIP関節脱臼						白衣・包帯
4	10月26日	第5指中手骨骨折、第4指PIP関節脱臼テスト						白衣・包帯
5	11月2日	ミッドデルドフの三角副子固定						白衣・包帯
6	11月9日	ミッドデルドフの三角副子固定						白衣・包帯
7	11月16日	ミッドデルドフの三角副子固定						白衣・包帯
8	11月30日	ミッドデルドフの三角副子固定テスト						白衣・包帯
9	12月7日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
10	12月14日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
11	12月21日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
12	1月11日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂テスト						白衣・包帯
13	1月18日	後期期末試験						白衣・包帯
14	1月25日	後期期末試験						白衣・包帯
15	2月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	整形外科学		授業形態	講義・演習	担当教員	石井 利昌
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	整形外科学は運動器の医学であり、運動器の治療を行う柔道整復師はその基本的な知識を持っている必要がある。ここでは、整形外科領域の障害、疾患において基本となる診察法、検査法および観血療法の適応について学ぶ。					
到達目標	運動器の外傷学の保存治療だけではなく、運動器全体の知識すなわち整形外科学全般についても基本的な知識をつけ、外傷以外の運動器疾患との類似性と相違について理解する。 整形外科における基本的診察法、検査法、治療法については演習を行い理解を深める。					
使用テキスト 参考文献 教材	整形外科学（改訂第3版） 全国柔道整復学校協会監修 南江堂					
単位認定方法	出席、授業態度、試験に基づき評価を行う。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	医師					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		整形外科学			授業形態	講義・演習	担当教員	石井 利昌
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205/実技室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	整形外科とは						教科書（講義）
2	4月14日	診察法①						教科書（講義・演習）
3	4月21日	診察法②						教科書（講義・演習）
4	5月12日	検査法①						教科書（講義・演習）
5	5月19日	検査法②						教科書（講義・演習）
6	5月26日	治療法①						教科書（講義・演習）
7	6月2日	治療法②						教科書（講義・演習）
8	6月9日	骨・関節損傷総論①						教科書（講義）
9	6月16日	骨・関節損傷総論②						教科書（講義）
10	6月23日	リハビリテーション総論						教科書（講義）
11	6月30日	各論・A感染性疾患・B骨軟部腫瘍						教科書（講義）
12	7月7日	C非感染性疾患						教科書（講義）
13	7月14日	D全身性の骨・軟部疾患						教科書（講義）
14	7月21日	E骨端症・F四肢循環障害						教科書（講義）
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		整形外科学			授業形態	講義・演習	担当教員	石井 利昌
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205/実技室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	G神経・筋疾患①						教科書（講義）
2	10月20日	G神経・筋疾患②						教科書（講義）
3	10月27日	部位別各論、A体幹①						教科書（講義）
4	11月10日	A体幹②						教科書（講義・演習）
5	11月17日	A体幹③						教科書（講義・演習）
6	11月24日	B肩						教科書（講義・演習）
7	12月1日	B上肢①						教科書（講義・演習）
8	12月8日	B上肢②						教科書（講義・演習）
9	12月15日	B上肢③						教科書（講義・演習）
10	12月22日	C骨盤						教科書（講義・演習）
11	1月5日	C下肢①						教科書（講義・演習）
12	1月12日	C下肢②						教科書（講義・演習）
13	1月19日	C下肢③						教科書（講義・演習）
14	1月26日	総括						教科書（講義）
15	2月9日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生理学 2			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	正常 (健康) なヒトのからだのしくみとはたらきについて学習する。						
到達目標	柔道整復師国家試験に対応できる生理学の知識を習得する。 臨床医学に応用できる生理学の知識を習得する。						
使用テキスト 参考文献 教材	全国柔道整復学校協会 監修, 生理学 (改定第3版), 南江堂, 配布資料 (プリント)						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)						
教員実務の 経験	博士 (医学)、大学教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 2			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	生殖						
2	4月19日	生殖						
3	4月26日	血液						
4	5月10日	血液						
5	5月17日	血液						
6	5月26日	骨の生理						
7	5月31日	循環						
8	6月7日	循環						
9	6月14日	循環						
10	6月21日	循環						
11	6月28日	循環						
12	7月5日	呼吸の生理						
13	7月12日	呼吸の生理						
14	7月19日	呼吸の生理						
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 2			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	尿の生成と排泄						
2	10月11日	尿の生成と排泄						
3	10月18日	栄養と代謝						
4	10月25日	栄養と代謝						
5	11月1日	消化と吸収						
6	11月8日	消化と吸収						
7	11月15日	消化と吸収						
8	11月22日	消化と吸収						
9	11月29日	体温とその調節						
10	12月6日	体温とその調節						
11	12月13日	高齢者の生理学的特徴・変化						
12	12月20日	高齢者の生理学的特徴・変化						
13	1月17日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						
14	1月24日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						
15	2月7日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 2		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	90	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <p>2 年次より、学外での救護活動による実習を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者に使用する際の注意点を指導。 ・正しく使用できるか確認する。 ・指示に従い物理療法機器の付け外しを行える。 ・救護現場において指導者の指示に従い行動できる。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の誘導から物理療法機器の付け外し、処置の補助や患者とのコミュニケーションなど指導内容に加え自主的に関わる。 ・救護現場において指導者の指示に従い行動できる。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編</p> <p>柔道整復学・実技編</p> <p>臨床実習ガイドライン</p>					
単位認定方法	<p>物理療法機器の取り扱いができる。</p> <p>患者に不安や不快を与えない行動ができる。患者の立場に立ち考え、行動できる。</p> <p>適切な場所に機器の取り付けができる。</p> <p>損傷や症状の理解を深めている。</p> <p>以上の到達目標について評価し単位を認定する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>8 0 点以上の評価点に『A』, 7 0 ～ 7 9 点の評価点に『B』, 6 0 ～ 6 9 点の評価点に『C』</p> <p>5 9 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 1	授業形態	講義	担当教員	原田 武彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>鎖骨、肩甲骨を含む上肢帯の骨折について学習を行う。</p> <p>骨折についての力学的視点を含んだ発生のメカニズムや臨床症状・整復法・固定法・後療法・後遺症・合併症や類似疾患などの知識を学習し、実際の臨床例を様々な角度から検討しながら、適切な処置を行えるような知識をつけることを目標とする。</p> <p>また、国家試験に対応できるようにポイントを注視させ対応できるようにする。</p>				
到達目標	<p>鎖骨骨折、肩甲骨骨折、を含む上肢帯の骨折の診断法、処置法、後療法、予後（合併症を含む）について教科書に沿って講義を行う。</p> <p>各骨折の鑑別・診察にあたり必要な知識を身につけるために、資料やPower pointを用いて視覚的にもイメージしやすいように行い、国家試験のガイドラインだけにとらわれず臨床に役に立つ知識を身につけてもらう内容で講義を行っていく。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書：柔道整復理論 第5版（南江堂）</p> <p>参考書：各授業にて参考資料を配布</p> <p>柔道整復外傷学ハンドブック 上肢の骨折・脱臼（医道の日本社）</p>				
単位認定方法	<p>前期および後期試験を各々C評価以上評価点を所得すること。</p> <p>前期および後期期末試験の成績の合算平均がC評価以上であること。</p> <p>前期・後期の授業出席が3分の2以上であること</p> <p>課題の提出が求められた際に、速やかに提出すること</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>				
教員実務の 経験	<p>柔道整復専科教員、接骨院勤務</p> <p>長年にわたる接骨院での臨床（実務）経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	原田 武彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	鎖骨骨折についての概要を説明。臨床の立場に立って講義し、非観血的療法の利点と問題点について講義						教科書・プリント配布
2	4月18日	肩甲骨の各部位ごとの骨損傷について概要と問題点について講義						教科書・プリント配布
3	4月25日	上腕骨近位端部の骨損傷についての概要を説明、非観血的療法の利点と問題点について講義						教科書・プリント配布
4	5月9日	上腕骨外科頸骨折について、発生機序・症状・診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
5	5月16日	上腕骨骨幹部骨折について、その特徴と機能解剖を説明し、発生機序・症状（骨片転位を含む）について講義						教科書・プリント配布
6	5月23日	上腕骨骨幹部骨折について、整復法・固定法・後療法・合併症・及び観血的療法と、その限界点について講義						教科書・プリント配布
7	5月30日	上腕骨遠位端骨折について、その特徴と機能解剖について説明し、発生機序・症状（骨片転位を含む）について講義						教科書・プリント配布
8	6月6日	上腕骨顆上骨折について、発生機序・症状（骨片転位を含む）診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
9	6月13日	上腕骨顆上骨折について、整復法・固定法・後療法・合併症・後遺症及び非観血的療法の限界について講義						教科書・プリント配布
10	6月20日	上腕骨外顆骨折について発生機序・症状（骨片転位を含む）診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
11	6月27日	上腕骨外顆骨折について整復法・固定法・後療法・合併症・後遺症及び非観血的療法の限界について講義						教科書・プリント配布
12	7月4日	上腕骨内顆骨折について発生機序・症状・診断法・鑑別診断・治療法について講義						教科書・プリント配布
13	7月11日	橈骨近位端骨折について、発生機序・症状・診断法・鑑別診断・治療法について講義						教科書・プリント配布
14	7月25日	肘頭骨折について、その特徴と機能解剖を説明し、発生機序・症状（骨片転位を含む）について講義						教科書・プリント配布
15	8月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	原田 武彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	橈骨骨幹部骨折（前腕両骨骨折を含む）について発生機序・症状について講義						教科書・プリント配布
2	10月17日	橈骨骨幹部骨折（前腕両骨骨折を含む）について診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
3	10月24日	尺骨骨幹部骨折、モンテギア骨折について、発生機序・症状・診断法について講義						教科書・プリント配布
4	10月31日	橈骨遠位端部骨折（特にコーレス骨折）について特徴と機能解剖・発生機序・分類について講義						教科書・プリント配布
5	11月7日	橈骨遠位端部骨折（特にコーレス骨折）の後療法について講義						教科書・プリント配布
6	11月14日	その他の橈骨遠位端部骨折について特徴と機能解剖・発生機序・分類について合併症と問題点について講義						教科書・プリント配布
7	11月21日	舟状骨骨折について特徴を説明し、発生機序・症状（骨片転位）について講義						教科書・プリント配布
8	11月28日	舟状骨骨折の整復法・診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
9	12月5日	その他手根骨骨折の特徴を説明し、発生機序・症状（骨片転位を含む）について講義						教科書・プリント配布
10	12月12日	ボクサー骨折について発生機序・症状・診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
11	12月19日	基節骨骨折、中節骨骨折、末節骨骨折について発生機序・症状・診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
12	12月26日	マレットフィンガーについて発生機序・症状（骨片転位を含む）・診断法・鑑別診断について講義						教科書・プリント配布
13	1月16日	マレットフィンガーについて、整復法・固定法・後療法・合併症について講義						教科書・プリント配布
14	1月23日	手指骨折の後療法について講義						教科書・プリント配布
15	2月6日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

科目名	臨床柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	下肢の機能解剖、下肢の骨折の分類、発生機序、骨片転位のメカニズムを学び、起こりうる合併症の対策や治療法について学ぶ。						
到達目標	骨折の発生機序、症状、合併症、予後を推測することができ、柔道整復師としての、治療適応の判断ができるようになる。						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員、接骨院勤務						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	骨盤骨折①						柔道整復学（理論編）
2	4月14日	骨盤骨折②						柔道整復学（理論編）
3	4月21日	骨盤骨折③						柔道整復学（理論編）
4	5月12日	骨盤骨折④						柔道整復学（理論編）
5	5月19日	大腿骨近位部骨折①						柔道整復学（理論編）
6	5月26日	大腿骨近位部骨折②						柔道整復学（理論編）
7	6月2日	大腿骨近位部骨折③						柔道整復学（理論編）
8	6月9日	大腿骨近位部骨折④						柔道整復学（理論編）
9	6月16日	大腿骨骨幹部骨折						柔道整復学（理論編）
10	6月23日	大腿骨遠位部骨折①						柔道整復学（理論編）
11	6月30日	大腿骨遠位部骨折②						柔道整復学（理論編）
12	7月7日	大腿骨遠位部骨折③						柔道整復学（理論編）
13	7月14日	大腿骨遠位部骨折④						柔道整復学（理論編）
14	7月21日	前期総復習						柔道整復学（理論編）
15	8月4日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	下腿近位部骨折①						柔道整復学（理論編）
2	10月20日	下腿近位部骨折②						柔道整復学（理論編）
3	10月27日	膝蓋骨骨折						柔道整復学（理論編）
4	11月10日	下腿骨幹部骨折①						柔道整復学（理論編）
5	11月17日	下腿骨幹部骨折②						柔道整復学（理論編）
6	11月24日	下腿遠位部骨折①						柔道整復学（理論編）
7	12月1日	下腿遠位部骨折②						柔道整復学（理論編）
8	12月8日	下腿遠位部骨折③						柔道整復学（理論編）
9	12月15日	距骨骨折						柔道整復学（理論編）
10	12月22日	踵骨骨折						柔道整復学（理論編）
11	1月5日	足根骨骨折						柔道整復学（理論編）
12	1月12日	中足骨の骨折						柔道整復学（理論編）
13	1月19日	足趾の骨折						柔道整復学（理論編）
14	1月26日	後期総復習						柔道整復学（理論編）
15	2月9日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 3		授業形態	講義・演習	担当教員	村上 直樹
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師業務範囲である上肢脱臼・下肢脱臼・顎関節脱臼を理解する。</p> <p>各脱臼の基礎的な知識とその処置について学ぶ。</p>					
到達目標	<p>脱臼の各論について、診察から後療法までの基礎知識および実際の臨床での対応することができる。</p> <p>思考力や対応能力を定着させることを目標とする。</p> <p>必要とされる整復方法や治療法については演習を行い、実際の施術方法について理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学（理論編）改訂第 6 版</p> <p>柔道整復学（実技編）改訂第 2 版</p>					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師、専科教員、整形外科内科診療所勤務</p> <p>長年にわたる整形外科での臨床（実務）経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 3			授業形態	講義・演習	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	脱臼総論復習						柔道整復学・理論編
2	4月20日	胸鎖関節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
3	4月27日	肩鎖関節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
4	5月11日	肩関節脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
5	5月18日	肩関節脱臼②（講義）						柔道整復学・理論編
6	5月25日	肩関節脱臼③（演習）						柔道整復学・理論編
7	6月1日	肘関節脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
8	6月8日	肘関節脱臼②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
9	6月15日	遠位橈尺関節脱臼（講義）						柔道整復学・理論編
10	6月22日	橈骨手根関節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
11	6月29日	月状骨・月状骨周囲脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
12	7月6日	手根中手関節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
13	7月13日	中手指節間節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
14	7月20日	近位・遠位指節間節脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 3			授業形態	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品
1	10月5日	前期復習					柔道整復学・理論編
2	10月12日	股関節脱臼①（講義）					柔道整復学・理論編
3	10月19日	股関節脱臼②（講義・演習）					柔道整復学・理論編
4	10月26日	膝関節脱臼①（講義）					柔道整復学・理論編
5	11月2日	膝関節脱臼②（講義）					柔道整復学・理論編
6	11月9日	膝蓋骨脱臼①（講義）					柔道整復学・理論編
7	11月16日	膝蓋骨脱臼②（講義・演習）					柔道整復学・理論編
8	11月30日	足関節脱臼（講義）					柔道整復学・理論編
9	12月7日	足根部脱臼（講義）					柔道整復学・理論編
10	12月14日	足趾脱臼①（講義・演習）					柔道整復学・理論編
11	12月21日	足趾脱臼②（講義・演習）					柔道整復学・理論編
12	1月11日	顎関節脱臼（講義）					柔道整復学・理論編
13	1月18日	顎関節症Ⅰ～Ⅴ型（講義）					柔道整復学・理論編
14	1月25日	総まとめ					柔道整復学・理論編
15	2月8日	試験返却・試験解説					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 4			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	肩関節の機能解剖 腱板断裂						柔道整復学・理論編
2	4月20日	腱板断裂 上腕二頭筋長頭腱損傷						柔道整復学・理論編
3	4月27日	ベネット損傷 SLAP損傷						柔道整復学・理論編
4	5月11日	インピンジメント症候群 リトルリーガー肩						柔道整復学・理論編
5	5月18日	動揺性肩関節 末梢神経損傷						柔道整復学・理論編
6	5月25日	五十肩 その他の肩疾患						柔道整復学・理論編
7	6月1日	肘関節の機能解剖 肘関節靱帯損傷						柔道整復学・理論編
8	6月8日	野球肘						柔道整復学・理論編
9	6月15日	テニス肘 回旋不安定症 その他の疾患						柔道整復学・理論編
10	6月22日	その他の疾患 上肢の神経について						柔道整復学・理論編
11	6月29日	前腕コンパートメント症候群						柔道整復学・理論編
12	7月6日	円回内筋症候群						柔道整復学・理論編
13	7月13日	前・後骨間神経麻痺						柔道整復学・理論編
14	7月20日	肘部管症候群						柔道整復学・理論編
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 4			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	ドケルバン病 腱交叉症候群						柔道整復学・理論編
2	10月12日	手根管症候群						柔道整復学・理論編
3	10月19日	ギヨン管症候群						柔道整復学・理論編
4	10月26日	キーンベック病 マーデルング変形						柔道整復学・理論編
5	11月2日	指の機能解剖 指側副靱帯損傷						柔道整復学・理論編
6	11月9日	指側副靱帯損傷						柔道整復学・理論編
7	11月16日	ロッキングフィンガー ばね指						柔道整復学・理論編
8	11月30日	ばね指 デュブイトラン拘縮						柔道整復学・理論編
9	12月7日	ボタン穴変形 スワンネック変形						柔道整復学・理論編
10	12月14日	まとめ①						柔道整復学・理論編
11	12月21日	まとめ②						柔道整復学・理論編
12	1月11日	上肢軟損復習						柔道整復学・理論編
13	1月18日	上肢軟損復習						柔道整復学・理論編
14	1月25日	上肢軟損復習						柔道整復学・理論編
15	2月8日	試験返却・試験解説						

授業要項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 5	授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次	2 学年	時間数（単位数）	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>下肢軟部組織損傷について学ぶ。</p> <p>上肢の軟部組織損傷と同様に疾患と病態を理解することが重要である。</p> <p>下肢の損傷は体動や歩行機能に大きく影響するため病態把握について理解が必要。</p>				
到達目標	<p>疾患と病態の理解。</p> <p>適応する徒手検査法についても名称と実施法について理解することが目標。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編				
単位認定方法	前期・後期試験の結果で評価する。				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>				
教員実務の 経験	<p>整形外科病院・診療所勤務</p> <p>附属接骨院院長</p> <p>柔道整復師専科教員</p>				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 5			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	鼠径部痛症候群 関節唇損傷						柔道整復学・理論編
2	4月15日	弾発股 梨状筋症候群						柔道整復学・理論編
3	4月22日	ペルテス 単純性股関節炎 すべり症						柔道整復学・理論編
4	5月6日	大腿骨頭壊死症						柔道整復学・理論編
5	5月13日	変形性股関節症						柔道整復学・理論編
6	5月20日	股関節拘縮						柔道整復学・理論編
7	5月27日	大腿部打撲 骨化性筋炎						柔道整復学・理論編
8	6月3日	大腿部肉離れ						柔道整復学・理論編
9	6月10日	膝関節 発育期の障害						柔道整復学・理論編
10	6月17日	オスグッドシュラッター病 分裂膝蓋骨						柔道整復学・理論編
11	6月24日	半月板損傷						柔道整復学・理論編
12	7月1日	側副靱帯損傷						柔道整復学・理論編
13	7月8日	十字靱帯損傷						柔道整復学・理論編
14	7月15日	膝蓋大腿関節障害						柔道整復学・理論編
15	8月5日	試験返却・試験解説						柔道整復学・理論編

2022 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 5			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	腸脛靭帯炎 鷲足炎						柔道整復学・理論編
2	10月14日	滑液包炎 神経障害						柔道整復学・理論編
3	10月21日	離断性骨軟骨炎 変形性膝関節症						柔道整復学・理論編
4	11月4日	アキレス腱炎 アキレス腱断裂						柔道整復学・理論編
5	11月11日	下腿三頭筋肉離れ シンスプリント						柔道整復学・理論編
6	11月18日	コンパートメント症候群						柔道整復学・理論編
7	11月25日	足関節捻挫						柔道整復学・理論編
8	12月2日	足関節捻挫						柔道整復学・理論編
9	12月9日	類症鑑別 腓骨筋腱脱臼						柔道整復学・理論編
10	12月16日	インピンジメント 三角骨障害						柔道整復学・理論編
11	12月23日	扁平足障害 足根部障害						柔道整復学・理論編
12	1月6日	足根管症候群						柔道整復学・理論編
13	1月13日	中足部有痛性疾患						柔道整復学・理論編
14	1月20日	前足部有痛性疾患						柔道整復学・理論編
15	2月3日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 6		授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年度	2 学年	時間数（単位数）	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>頭部・顔面および脊柱部の損傷に必要な解剖と機能について学び、発生メカニズム、判断基準、生命に関わる合併症等の判断について学習する。</p> <p>临床上、取り扱う軟部組織損傷に対する判断、後療法等について実技を交えながら学習する。</p> <p>シラバスに関しては授業の進捗度合いにより適宜変更する。</p>					
到達目標	<p>柔道整復師として頭部・顔面、脊柱部の損傷に対する基礎知識、生命に関わる合併症等の基礎知識、対処法についてを理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編</p>					
単位認定方法	<p>下記「成績評価方法基準」を満たした学生に単位を認定する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師 専科教員、接骨院勤務</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 6			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	頭部骨折						柔道整復学（理論編）
2	4月18日	頭部骨折						柔道整復学（理論編）
3	4月25日	頭部軟損						柔道整復学（理論編）
4	5月9日	頭部軟損						柔道整復学（理論編）
5	5月16日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
6	5月23日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
7	5月30日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
8	6月6日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
9	6月13日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
10	6月20日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
11	6月27日	脊柱骨折						柔道整復学（理論編）
12	7月4日	肋骨骨折						柔道整復学（理論編）
13	7月11日	肋骨骨折、胸骨骨折						柔道整復学（理論編）
14	7月25日	胸骨骨折						柔道整復学（理論編）
15	8月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 6			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	頸椎の脱臼						柔道整復学（理論編）
2	10月11日	胸椎、腰椎脱臼						柔道整復学（理論編）
3	10月18日	頸椎軟損						柔道整復学（理論編）
4	10月25日	頸椎軟損						柔道整復学（理論編）
5	11月1日	頸椎軟損						柔道整復学（理論編）
6	11月8日	頸椎軟損						柔道整復学（理論編）
7	11月15日	胸椎軟損						柔道整復学（理論編）
8	11月22日	胸椎軟損						柔道整復学（理論編）
9	11月29日	胸椎軟損						柔道整復学（理論編）
10	12月6日	腰椎軟損						柔道整復学（理論編）
11	12月13日	腰椎軟損						柔道整復学（理論編）
12	12月20日	腰椎軟損						柔道整復学（理論編）
13	1月17日	復習						柔道整復学（理論編）
14	1月24日	復習						柔道整復学（理論編）
15	2月7日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 2	授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・原田 武彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>現在の医療従事者の中で開業権を与えられている柔道整復師に求められる役割として、質の高い医療を提供することが求められている。その中で、超音波画像診断装置を用いて日常の施術を行う柔道整復師の多数見受けられるようになってきた。</p> <p>柔整にて超音波画像診断装置を用いて施術を行うことは平成15年12月15日に厚生労働省から追認されており、今後機械の進化に伴い業界の標準化するであろうと考えられる。</p> <p>しかしながら超音波画像診断装置を扱うに当たっては、専門知識と技術が必要であり、それらを習得し臨床の現場で活用できるようにすることを目的として講義を行う。</p>				
到達目標	<p>特に臨床的に多い肩関節、肘関節、手関節、指関節、膝関節、足関節を中心に講義を行う。各関節の描出方法や、描出した画像の読影と、各徒手検査を含めた診察法と損傷した画像の関心領域について講義を行う。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	各授業ごとに、資料を配布する				
単位認定方法	前期および後期試験の結果により評価する。				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・原田 武彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	医用画像の基礎①						資料配布
2	4月18日	医用画像の基礎②						資料配布
3	4月25日	超音波による観察法の基礎						資料配布
4	5月9日	超音波による観察の実際①（手・指）						資料配布
5	5月16日	超音波による観察の実際②（手・指）						資料配布
6	5月23日	超音波による観察の実際③（肘）						資料配布
7	5月30日	超音波による観察の実際④（肘）						資料配布
8	6月6日	超音波による観察の実際⑤（肩）						資料配布
9	6月13日	超音波による観察の実際⑥（肩）						資料配布
10	6月20日	超音波による観察の実際⑦（膝）						資料配布
11	6月27日	超音波による観察の実際⑧（膝）						資料配布
12	7月4日	超音波による観察の実際⑨（手・指）						資料配布
13	7月11日	超音波による観察の実際⑩（手・指）						資料配布
14	7月25日	前期実技試験						資料配布
15	8月8日	試験返却・試験解説						資料配布

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・原田 武彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	肩関節周囲の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
2	10月11日	肩関節周囲の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
3	10月18日	肘関節周囲の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
4	10月25日	肘関節周囲の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
5	11月1日	手関節周囲の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
6	11月8日	手関節周囲の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
7	11月15日	指関節の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
8	11月22日	指関節の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
9	11月29日	膝関節周囲の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
10	12月6日	膝関節周囲の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
11	12月13日	足関節周囲の筋肉・靱帯の描出手順について						プリント・テキストを配布
12	12月20日	足関節周囲の筋肉・靱帯を描出した画像の読影と病態について						プリント・テキストを配布
13	1月17日	講義のまとめ ①						プリント・テキストを配布
14	1月24日	講義のまとめ ②						プリント・テキストを配布
15	2月7日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>テーピングの目的、効果、注意点を理解する。</p> <p>各部位に合ったテーピング法を理解する。</p> <p>応急処置としてのテーピングの理解する。</p>						
到達目標	<p>学んだテーピングの基礎を迅速に実施できるようになる。</p> <p>柔道整復師として外傷、運動障害に対しての適切な処置ができるようになる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>8 0 点以上の評価点に『A』, 7 0 ~ 7 9 点の評価点に『B』, 6 0 ~ 6 9 点の評価点に『C』</p> <p>5 9 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員 、接骨院勤務						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	テーピングの基本について						配布資料
2	4月19日	応急処置と基本的な巻き方						配布資料・白衣
3	4月26日	大腿部のテーピング						配布資料・白衣
4	5月10日	下腿部のテーピング						配布資料・白衣
5	5月17日	試験（大腿部・下腿部テーピング）						白衣
6	5月24日	肘関節テーピング固定①						配布資料・白衣
7	5月31日	肘関節テーピング固定②						配布資料・白衣
8	6月7日	手関節のテーピング固定①						配布資料・白衣
9	6月14日	試験（肘関節・手関節テーピング）						白衣
10	6月21日	指、足部のテーピング①						配布資料・白衣
11	6月28日	指、足部のテーピング②						配布資料・白衣
12	7月5日	前期復習						配布資料・白衣
13	7月12日	総試験						白衣
14	7月19日	総試験						白衣
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	足関節テーピング固定 ①						配布資料・白衣
2	10月11日	足関節テーピング固定 ②						配布資料・白衣
3	10月18日	足関節テーピング固定 ③						配布資料・白衣
4	10月25日	足関節テーピング固定 ④						配布資料・白衣
5	11月1日	試験（足関節テーピング固定）						白衣
6	11月8日	足関節テーピング固定（バスケットウィーブ固定）①						配布資料・白衣
7	11月15日	足関節テーピング固定（バスケットウィーブ固定）②						配布資料・白衣
8	11月22日	試験（バスケットウィーブ固定）						白衣
9	11月29日	膝関節テーピング固定（Xサポート固定）①						配布資料・白衣
10	12月6日	膝関節テーピング固定（Xサポート固定）②						配布資料・白衣
11	12月13日	試験（膝関節Xサポート固定）						白衣
12	12月20日	後期の復習						配布資料・白衣
13	1月17日	足関節・膝関節・総試験						白衣
14	1月24日	足関節・膝関節・総試験						白衣
15	2月7日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	リハビリテーション医学 1		授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	リハビリテーション医学の理念、評価学、障害学と治療学等					
到達目標	<p>リハビリテーション医学全般について学習する。</p> <p>高齢化社会に伴い、リハビリテーションの需要はますます増大しているが、特にその必要性や重要性を十分理解し、患者のQOLの向上に寄与できるようにする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>リハビリテーション医学 改訂第4版（全国柔道整復学校協会監修） 南江堂</p> <p>その他資料プリント</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験と出席で評価する。 ・出席は授業実施時数の3分の2以上とする。 ・必要に応じてレポートを提出してもらう。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	大学講師・診療部長、医学博士					

2022 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		リハビリテーション医学 1			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	理念						
2	4月14日	対象と障害者の実態						
3	4月21日	障害の階層とアプローチ						
4	5月12日	障害の階層とアプローチ						
5	5月19日	評価学						
6	5月26日	評価学						
7	6月2日	評価学						
8	6月9日	障害学と治療学						
9	6月16日	障害学と治療学						
10	6月23日	障害学と治療学						
11	6月30日	関連職種						
12	7月7日	治療技術						
13	7月14日	治療技術						
14	7月21日	治療技術						
15	8月4日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

科目名	リハビリテーション医学 2			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	運動器に対してのリハビリテーションや国家試験に向けての対策を行う						
到達目標	国家試験に向けての知識を身につける						
使用テキスト 参考文献 教材	リハビリテーション医学（改訂第4版）						
単位認定方法	下記〔成績評価方法基準〕を満たした学生に単位を認定する。 各単元ごとのテスト及び期末試験の合計点の平均が60%以上						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員 接骨院勤務						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		リハビリテーション医学 2			授業形態	講義	担当教員	梶 淵 和 真
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	高齢者のリハビリテーション						教科書
2	10月14日	運動器のリハビリテーション（骨折の治療と後療法）						教科書
3	10月21日	運動器のリハビリテーション（骨粗鬆症、捻挫のアプローチ）						教科書
4	11月4日	運動器のリハビリテーション（上・下肢損傷後症候群）						教科書
5	11月11日	運動器のリハビリテーション（頸肩腕症候群の病態とアプローチ）						教科書
6	11月18日	運動器のリハビリテーション（腰痛症の病態とアプローチ）						教科書
7	11月25日	運動器のリハビリテーション（肋骨骨折、アキレス腱断裂のアプローチ）						教科書
8	12月2日	前期の復習						教科書
9	12月9日	前期の復習						教科書
10	12月16日	前期の復習						教科書
11	12月23日	前期の復習						教科書
12	1月6日	前期の復習						教科書
13	1月13日	前期の復習						教科書
14	1月20日	前期の復習						教科書
15	2月3日	1 年間の総復習						教科書

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	衛生学・公衆衛生学		授業形態	講義	担当教員	若山 葉子
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>テキストを中心に、スライド・参考資料を用いて講義を行う。</p> <p>直近の公衆衛生学的話題、行政など社会の動向についても解説を加える。</p> <p>適宜小テストを実施し理解度を確認する。</p>					
到達目標	<p>将来地域社会で保健・医療・福祉の一端を担うにふさわしい、公衆衛生学的学識と教養を 確実に身につけ、国家試験合格を目指す。</p> <p>自身の社会的役割・責任・貢献等について考えを深める。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 『衛生学・公衆衛生学』</p> <p>財団法人 厚生労働統計協会『国民衛生の動向』2020/2021</p>					
単位認定方法	<p>期末試験（筆記試験）</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>医学博士 大学講師</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		衛生学・公衆衛生学			授業形態	講義	担当教員	若山 葉子
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	衛生学・公衆衛生学概説 公衆衛生活動 健康の概念/定義 疾病分類 (ICD ICF)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
2	4月18日	健康測定 (1) 人口統計①:人口静態統計 (国勢調査) 人口構成・推移 人口ピラミッド						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
3	4月25日	人口統計②:人口動態統計調査 出生 死亡 死因別死亡 婚姻 離婚						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
4	5月9日	健康測定 (2) 保健統計 (疾病・傷害統計) ①国民生活基礎調査 ②患者調査						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
5	5月16日	疾病の予防と健康管理: 予防の3段階 集団検診とスクリーニング						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
6	5月23日	疾病の要因と予防: 生活習慣と健康 (生活習慣病) 健康日本21 (第二次)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
7	5月30日	主要疾患の予防 (1) がん 循環器疾患 (心疾患 脳血管疾患) 代謝疾患 (糖尿病) 骨疾患						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
8	6月6日	主要疾患の予防 (2) 感染症① 感染症成立の条件 感染症の種類 (病原微生物別)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
9	6月13日	感染症② 予防対策 (感染症成立条件別の対策、感染症法に基づく対策)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
10	6月20日	感染症③ 感染症の現状と発生動向 院内感染対策 予防接種						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
11	6月27日	消毒 (1) 消毒実施上の注意点 消毒の種類と方法 (理学的消毒法・化学的消毒法)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
12	7月4日	消毒 (2) 消毒の応用 (手指の消毒・施術における消毒) 院内感染対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
13	7月11日	環境保健 (1) 生体と環境要因 地球環境問題 公害 環境汚染の現状と対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
14	7月25日	環境保健 (2) 環境要因と健康 (気温,気圧,騒音,振動,放射線) 生活環境衛生 (上下水道,廃棄物)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
15	8月8日	試験解説・学期のまとめ						

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		衛生学・公衆衛生学			授業形態	講義	担当教員	若山 葉子
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	食品保健：栄養（食事摂取基準） 食中毒（種類・発生状況・予防対策）食品の安全対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
2	10月17日	産業保健： 職業病 労働災害の現状と補償 職場の健康管理 雇用統計						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
3	10月24日	母子保健：母子保健指標 保健対策（母子保健法）母子保健医療 健やか親子21（第二次）						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
4	10月31日	学校保健：学校保健管理（健康診断）学校感染症 学齢期の健康状態 学校環境・安全管理						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
5	11月7日	成人・高齢者保健：後期高齢者医療制度 介護保険制度 精神保健：医療精神保健対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
6	11月21日	地域保健と衛生行政：保健所の設置と事業 市町村の事業 地域保健活動の進め方						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
7	11月28日	保健医療の制度：医療施設 医療保障制度（医療保険 公費医療） 国民医療費						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
8	12月5日	国際保健：国際保健協力 国際機関 WHO 医療の倫理と安全確保：情報保護 安全対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
9	12月12日	疫学（1）集団の把握 基本指標 疫学の効果指標 疫学の進め方 疫学研究のデザイン						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
10	12月19日	疫学（2）記述疫学 分析疫学（コホート研究・症例対照研究）介入研究 エビデンスレベル						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
11	12月26日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
12	1月16日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
13	1月23日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
14	1月30日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
15	2月6日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	関係法規			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>法全般の概要を理解した後、柔道整復師法とその関連内容について学ぶ。</p> <p>また、医師法、医療法などの医療に関わる関係法規についても、医療従事者として理解しておくべき内容について学習する。</p>						
到達目標	<p>国家試験に対応するため、柔道整復師法および関係法規の理解を深めると同時に、柔道整復師が医療従事者として必要な職業倫理を学ぶ。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書「関係法規」</p> <p>必要に応じて配布するプリント</p>						
単位認定方法	<p>前期試験の結果で評価する。</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員</p>						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		関係法規			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	法の意義・法の体系・インフォームド・コンセント						教科書
2	4月20日	柔道整復師法・総則						教科書
3	4月27日	柔道整復師法・免許						教科書
4	5月11日	柔道整復師法・柔道整復師国家試験						教科書
5	5月18日	柔道整復師法・業務						教科書
6	5月25日	柔道整復師法・施術所						教科書
7	6月1日	柔道整復師法・雑則、罰則						教科書
8	6月8日	柔道整復師法・その他						教科書
9	6月15日	医療従事者の資格法						教科書
10	6月22日	医療法						教科書
11	6月29日	その他関係法規						教科書
12	7月6日	問題演習						教科書
13	7月13日	問題演習						教科書
14	7月20日	問題演習						教科書
15	8月3日	試験返却・試験解説						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会保障制度			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	30	時間・2 単位	開講学期	後期	
授業の学習 内容	社会保障、社会保険制度、医療保険制度、療養費制度など社会保障制度の基本について学習していく。						
到達目標	柔道整復療養費の取り扱いを行う柔道整復師にとって、療養費制度はもちろんのこと、社会保障制度全般の知識を身につけることが重要である。そのことを踏まえ、療養費制度をはじめとし、社会保障制度の理解を深めることをねらいとする。						
使用テキスト 参考文献 教材	教科書「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」						
単位認定方法	後期試験の結果で評価する。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会保障制度			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	社会保障とは						教科書
2	10月12日	社会保険制度とは						教科書
3	10月19日	公的年金制度						教科書
4	10月26日	介護保険						教科書
5	11月2日	社会福祉・公的扶助・公衆衛生						教科書
6	11月9日	医療保険の目的と意義						教科書
7	11月16日	J 3 第 4 回模擬試験						教科書
8	11月30日	保険診療の概要						教科書
9	12月7日	医療保険財政の現状と課題						教科書
10	12月14日	診療報酬制度						教科書
11	12月21日	療養費とは						教科書
12	1月11日	柔道整復療養費						教科書
13	1月18日	柔道整復療養費の推移						教科書
14	1月25日	療養費の算定						教科書
15	2月1日	まとめ						教科書

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道 2	授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	1.礼法（立礼・座礼） 2.受身（後受身・横受身・前回受身） 3.投の形（手技・腰技・足技） 4.約束乱取				
到達目標	1・2年で修得した柔道の集大成とし、実技認定試験合格に必要な礼法、技術を身につける。 国家試験合格に必要な柔道に関する知識を習得する。				
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣				
単位認定方法	前期：実技試験・出席状況・授業態度を踏まえ評価する。 後期：実技認定試験の結果で評価する。				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）				
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 2			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	2 年時の復習						柔道衣
2	4月18日	投の形（内股）						柔道衣
3	4月25日	投の形（内股）						柔道衣
4	5月9日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
5	5月16日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
6	5月23日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
7	5月30日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
8	6月6日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
9	6月13日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
10	6月20日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
11	6月27日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
12	7月4日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
13	7月11日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
14	7月25日	実技試験						柔道衣
15	8月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 2			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
2	10月17日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
3	10月24日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
4	10月31日	問題演習						柔道衣
5	11月7日	問題演習						柔道衣
6	11月21日	問題演習						教科書・プリント
7	11月29日	問題演習						教科書・プリント
8	12月5日	問題演習						教科書・プリント
9	12月12日	問題演習						教科書・プリント
10	12月19日	問題演習						教科書・プリント
11	12月26日	問題演習						教科書・プリント
12	1月16日	問題演習						教科書・プリント
13	1月23日	問題演習						教科書・プリント
14	1月30日	問題演習						教科書・プリント
15	2月6日	問題演習						教科書・プリント

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 3	授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	認定実技審査要領を基に、柔道整復理論および整復法・検査法・固定法実技を行い実技試験を実施する。国家試験対策では、過去問題を主体として基礎知識の再確認と解説を行う。				
到達目標	認定実技試験の知識および技術の習得を目指し、認定校内審査と認定実技審査においての合格を目標とする。また、国家試験対策の授業では基礎知識の再確認して国家試験の合格を目指す。				
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学(実技編・理論編) 実習バック・厚紙副子・金属副子・綿花・鎖骨整復台・テーピング(38、50mm)・晒等				
単位認定方法	定期実技試験と出席点の合計が60点以上所得すること ※欠席1回5点減点、遅刻3回で5点減点とする				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）				
教員実務の 経験	柔道整復師、接骨院勤務、整形外科勤務、接骨院開業、専科教員				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	ガイダンス、厚紙副子、枕子作成						実技バック（毎授業）・厚紙
2	4月20日	鎖骨骨折理論・整復法実技						鎖骨整復台・プロジェクター
3	4月27日	鎖骨骨折整復法実技・固定法実技						厚紙副子・ホワイトテープ（38mm）
4	5月11日	鎖骨骨折固定法実技、上腕骨外科頸外転型骨折理論・整復法実技						
5	5月18日	前腕骨遠位端骨折理論・整復法実技						クラーメル・プロジェクター
6	5月25日	クラーメル作成、前腕骨遠位端固定法実技						厚紙副子・金属副子・プロジェクター
7	6月1日	肋骨骨折理論・固定法実技、まとめ						晒・厚紙副子
8	6月8日	実技試験(骨折) 1						
9	6月15日	実技試験(骨折) 2・肩鎖関節脱臼理論・整復法・固定法実技						プロジェクター・ホワイトテープ（50mm）
10	6月22日	肩関節脱臼理論・整復法・固定法実技						
11	6月29日	クラーメル作成・肘関節脱臼整復法・固定法実技						厚紙副子
12	7月6日	肘内障理論・整復法、まとめ						金属副子
13	7月13日	実技試験(脱臼) 1						プロジェクター
14	7月20日	実技試験(脱臼) 2						
15	8月3日	再試験						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	須藤 竜夫
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	復習						
2	10月12日	復習						
3	10月19日	復習						
4	10月26日	復習						
5	11月2日	国家試験対策1						
6	11月9日	国家試験対策2						
7	11月16日	第4回校内模擬試験						
8	11月30日	国家試験対策3						
9	12月7日	国家試験対策 4						
10	12月14日	国家試験対策5						
11	12月21日	国家試験対策 6						
12	1月11日	国家試験対策 7						
13	1月18日	国家試験対策 8						
14	1月25日	国家試験対策 9						
15	2月1日	国家試験対策 1 0						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 4		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	認定実技審査における上下肢軟部組織損傷に対する診察手順、検査法について学ぶ。 実際の所見と同様に確認できる手技および徒手検査法を実際に行い、各手順や方法について理解する。					
到達目標	診察において認められる所見について説明でき、徒手検査法については検査手順、手技、注意事項や患者への説明について理解し説明できるレベルであることが目標。 固定については適応する包帯法を駆使して規定範囲の固定を行うと共に十分な固定力を担保できる。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・実技編 適宜、資料配布					
単位認定方法	前期試験および認定実技審査の結果をもって評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	肩部の損傷（腱板断裂）						配布資料
2	4月15日	肩部の損傷（腱板断裂）						配布資料
3	4月22日	肩部の損傷（上腕二頭筋長頭腱損傷）						配布資料
4	5月6日	肩部の損傷（上腕二頭筋長頭腱損傷）						配布資料
5	5月13日	大腿部の損傷（大腿四頭筋打撲）						配布資料
6	5月20日	大腿部の損傷（ハムストリングス肉離れ）						配布資料
7	5月27日	膝部の損傷（側副靱帯）						配布資料
8	6月3日	膝部の損傷（側副靱帯）						配布資料
9	6月10日	膝部の損傷（半月板損傷）						配布資料
10	6月17日	膝部の損傷（半月板損傷）						配布資料
11	6月24日	膝部の損傷（十字靱帯損傷）						配布資料
12	7月1日	膝部の損傷（十字靱帯損傷）						配布資料
13	7月8日	足関節捻挫						配布資料
14	7月15日	前期実技試験						配布資料
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	実技総合練習						
2	10月14日	実技総合練習						
3	10月21日	実技総合練習						
4	11月4日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
5	11月11日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
6	11月18日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
7	11月25日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
8	12月2日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
9	12月9日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
10	12月16日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
11	12月23日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
12	1月6日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
13	1月13日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
14	1月20日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編
15	2月3日	国家試験対策 臨床問題						柔道整復学・理論編

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 5		授業形態	実技	担当教員	原田 武彦
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	骨折、脱臼、捻挫や軟部組織の外傷の施術を業とする柔道整復師の臨床の場において、患者の中には非外傷性の患者が来所する場合がある。また、外傷においても、柔道整復師の業務範囲を超えた損傷も含まれることがある。これらを損傷に対して症状や所見から適切な判断と最適な治療環境を提供しなくてはならない。その為に、柔道整復術の適応とその限界をを踏まえた判断力を養うことを目的とした講義を行っていく。					
到達目標	柔道整復師の施術の適応と判断や、全身状態の確認において注意すべき徴候を学習し、外傷における柔道整復術の限界や軟部組織損傷に潜んでいる内臓疾患や感染などの可能性疾患の鑑別、中枢神経系疾患の鑑別などの徴候を列挙して危険な徴候を学習して判断力を身につけられるような内容である。					
使用テキスト 参考文献 教材	各講義にて資料を配布し、その資料を基にPowerPointを用いて講義を行う。					
単位認定方法	前期および後期試験を各々C評価以上評価点を所得すること。 前期と後期試験の合算がC評価以上であること 前期・後期の授業出席が3分の2以上であること 課題の提出が求められた際に、速やかに提出できること					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	柔道整復専科教員 接骨院勤務					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	原田 武彦
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	柔道整復術の適否（施術の判断の必要性）						プリント配布資料
2	4月18日	柔道整復術の適否（適応の判断、柔道整復術非適応が疑われる症状と所見）						プリント配布資料
3	4月25日	損傷に類似した症状を示す疾患（内臓疾患の投影を疑う疼痛、腰痛を伴う腰痛）						プリント配布資料
4	5月9日	損傷に類似した症状を示す疾患（化膿性の炎症、軟部組織の圧迫損傷と褥瘡）						プリント配布資料
5	5月16日	血流障害を伴う損傷（血流障害が疑われる場合の判断と対応）						プリント配布資料
6	5月23日	血流障害を伴う損傷（骨折、脱臼）						プリント配布資料
7	5月30日	末梢神経損傷を伴う疾患（末梢神経損傷が疑われる場合の判断と対応）						プリント配布資料
8	6月6日	末梢神経損傷を伴う損傷（骨折、脱臼、外固定に起因する場合）						プリント配布資料
9	6月13日	脱臼骨折（脱臼骨折が疑われる場合の判断と対応）						プリント配布資料
10	6月20日	外出血を伴う損傷（外出血がある場合の判断と対応）						プリント配布資料
11	6月27日	外出血を伴う損傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）						プリント配布資料
12	7月4日	病的骨折および脱臼						プリント配布資料
13	7月11日	意識障害を伴う損傷（頭部外傷の症状、意識障害がみられる場合の判断と対応）						プリント配布資料
14	7月25日	前期講義のまとめ						
15	8月8日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	原田 武彦
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	意識障害を伴う損傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）						プリント配布資料
2	10月17日	脊髄症状のある損傷（脊髄損傷がみられる場合の判断と対応）						プリント配布資料
3	10月24日	脊髄症状のある損傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷および疾患）						プリント配布資料
4	10月31日	呼吸運動障害を伴う損傷（異常呼吸がみられる場合の判断と対応）						プリント配布資料
5	11月7日	呼吸障害を伴う損傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）						プリント配布資料
6	11月21日	内臓疾患の合併が疑われる損傷（内臓疾患が疑われる場合の判断と対応）						プリント配布資料
7	11月28日	内臓疾患の合併が疑われる損傷（骨折、脱臼、軟部組織損傷）						プリント配布資料
8	12月5日	高エネルギー外傷（高エネルギー外傷患者の判断と対応）						プリント配布資料
9	12月12日	高エネルギー外傷（骨折、脱臼）						プリント配布資料
10	12月19日	後期講義のまとめ						
11	12月26日	通年講義のまとめ①						
12	1月16日	通年講義のまとめ②						
13	1月23日	通年講義のまとめ③						
14	1月30日	通年講義のまとめ④						
15	2月6日	通年講義のまとめ⑤						

2022 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 6		授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>1、2 年生で学習した「生理学」の総復習を行う。</p> <p>「生理学」の内容はそれ単独では存在せず、「解剖学」や「病理学」などと繋がる。</p> <p>他教科との繋がりを意識しながら講義を行い、後期は問題演習を行う。</p> <p>授業後は常に自身で国家試験の過去問題に取り組み、知識の定着を行うことを勧める。</p>					
到達目標	国家試験に合格できるレベルでの知識の習得					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・生理学（社団法人全国柔道整復学校協会 監修 株式会社 南江堂） ・授業中の配布プリント 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験、後期兼卒業試験の成績をもって評価とする。 ・出席は授業実施時数の3分の2以上を必要とし、成績に反映させる。 ・後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員、接骨院勤務					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	血液（免疫）						教科書・プリント
2	4月15日	生理学（総論）						教科書・プリント
3	4月22日	生理学（総論）体液組成						教科書・プリント
4	5月6日	消化と吸収						教科書・プリント
5	5月13日	消化と吸収						教科書・プリント
6	5月20日	循環						教科書・プリント
7	5月27日	循環						教科書・プリント
8	6月3日	呼吸の生理						教科書・プリント
9	6月10日	呼吸の生理						教科書・プリント
10	6月17日	尿の生成と排泄						教科書・プリント
11	6月24日	尿の生成と排泄						教科書・プリント
12	7月1日	内分泌						教科書・プリント
13	7月8日	内分泌						教科書・プリント
14	7月15日	内分泌						教科書・プリント
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	金 曜 日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月7日	生殖						教科書・プリント
2	10月14日	生殖						教科書・プリント
3	10月21日	感覚の生理学						教科書・プリント
4	11月4日	感覚の生理学						教科書・プリント
5	11月11日	筋の生理						教科書・プリント
6	11月18日	骨の生理						教科書・プリント
7	11月25日	栄養と代謝						教科書・プリント
8	12月2日	体温とその調節						教科書・プリント
9	12月9日	高齢者の生理学的特徴・変化						教科書・プリント
10	12月16日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						教科書・プリント
11	12月23日	演習問題						教科書・プリント
12	1月6日	演習問題						教科書・プリント
13	1月13日	演習問題						教科書・プリント
14	1月20日	演習問題						教科書・プリント
15	1月27日	演習問題						教科書・プリント

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 7		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	国家試験に係る臨床科目（柔道整復理論）について1年および2年で履修した内容を基に、より臨床的内容に特化しながら内容の復習と出題基準に沿った問題の読解力を学ぶ。					
到達目標	国家試験において合格に達するレベルの知識の修得を目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編 適宜、国家試験過去問を使用					
単位認定方法	前・後期試験における結果を評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 7			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜 日	火 曜 日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	体幹部（頸部・胸部・腰部）①						柔道整復学・理論編
2	4月19日	体幹部（頸部・胸部・腰部）②						柔道整復学・理論編
3	4月26日	体幹部（頸部・胸部・腰部）③						柔道整復学・理論編
4	5月10日	上肢骨折①						柔道整復学・理論編
5	5月17日	上肢骨折②						柔道整復学・理論編
6	5月24日	上肢骨折③						柔道整復学・理論編
7	5月31日	上肢骨折④						柔道整復学・理論編
8	6月7日	上肢骨折⑤						柔道整復学・理論編
9	6月14日	上肢脱臼①						柔道整復学・理論編
10	6月21日	上肢脱臼②						柔道整復学・理論編
11	6月28日	上肢脱臼③						柔道整復学・理論編
12	7月5日	下肢骨折①						柔道整復学・理論編
13	7月12日	下肢骨折②						柔道整復学・理論編
14	7月19日	下肢骨折③						柔道整復学・理論編
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 7			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	下肢骨折④						柔道整復学・理論編
2	10月11日	下肢脱臼①						柔道整復学・理論編
3	10月18日	下肢脱臼②						柔道整復学・理論編
4	10月25日	上肢軟損①						柔道整復学・理論編
5	11月1日	上肢軟損②						柔道整復学・理論編
6	11月8日	上肢軟損③						柔道整復学・理論編
7	11月15日	上肢軟損④						柔道整復学・理論編
8	11月22日	下肢軟損①						柔道整復学・理論編
9	11月29日	下肢軟損②						柔道整復学・理論編
10	12月6日	下肢軟損③						柔道整復学・理論編
11	12月13日	下肢軟損④						柔道整復学・理論編
12	12月20日	総論①						柔道整復学・理論編
13	1月17日	総論②						柔道整復学・理論編
14	1月24日	総論③						柔道整復学・理論編
15	1月31日	総論④						柔道整復学・理論編

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 8		授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>1、2 年生で学習した「解剖学」の総復習を行う。</p> <p>「解剖学」は医学の基本であり、どんな医療系国家資格でも問われる内容である。</p> <p>講義の中で点在する知識を再構成し、頭の中を整理する。</p> <p>後期は「一般臨床医学」の対策も行う。</p> <p>授業後は常に自身で国家試験の過去問題に取り組み、不明点を残さないことを勧める。</p>					
到達目標	国家試験に合格できるレベルでの知識の習得					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社) ・授業中の配布プリント 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験、後期兼卒業試験の成績をもって評価とする。 ・出席は授業実施時数の3分の2以上を必要とし、成績に反映させる。 ・後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員、接骨院勤務					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 8			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	消化器						教科書・プリント
2	4月14日	消化器						教科書・プリント
3	4月21日	呼吸器						教科書・プリント
4	5月12日	泌尿器						教科書・プリント
5	5月19日	泌尿器						教科書・プリント
6	5月26日	生殖器						教科書・プリント
7	6月2日	生殖器						教科書・プリント
8	6月9日	内分泌器						教科書・プリント
9	6月16日	感覚器						教科書・プリント
10	6月23日	感覚器						教科書・プリント
11	6月30日	感覚器						教科書・プリント
12	7月7日	体表解剖						教科書・プリント
13	7月14日	演習問題						教科書・プリント
14	7月21日	演習問題						教科書・プリント
15	8月4日	試験返却・試験解説						教科書・プリント

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 8			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	演習問題						教科書・プリント
2	10月20日	演習問題						教科書・プリント
3	10月27日	演習問題						教科書・プリント
4	11月10日	演習問題						教科書・プリント
5	11月17日	演習問題						教科書・プリント
6	11月24日	演習問題						教科書・プリント
7	12月1日	演習問題						教科書・プリント
8	12月8日	演習問題						教科書・プリント
9	12月15日	演習問題						教科書・プリント
10	12月22日	演習問題						教科書・プリント
11	1月5日	演習問題						教科書・プリント
12	1月12日	演習問題						教科書・プリント
13	1月19日	演習問題						教科書・プリント
14	1月26日	演習問題						教科書・プリント
15	2月2日	演習問題						教科書・プリント

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 9		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	国家試験に係る臨床科目（整形外科・外科学）について1年および2年で履修した内容を 基に、より臨床的内容に特化しながら内容の復習と出題基準に沿った問題の読解力を 学ぶ。					
到達目標	国家試験において合格に達するレベルの知識の修得を目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	整形外科 外科学概論					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 9			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	整形外科 診察法・検査法・治療法						整形外科
2	4月20日	感染性疾患						整形外科
3	4月27日	感染性疾患						整形外科
4	5月11日	骨系統疾患						整形外科
5	5月18日	骨系統疾患						整形外科
6	5月25日	非感染性疾患						整形外科
7	6月1日	非感染性疾患						整形外科
8	6月8日	非感染性疾患						整形外科
9	6月15日	骨腫瘍						整形外科
10	6月22日	骨腫瘍						整形外科
11	6月29日	骨腫瘍						整形外科
12	7月6日	筋神経疾患						整形外科
13	7月13日	筋神経疾患						整形外科
14	7月20日	循環障害 骨端症						整形外科
15	8月3日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 9			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	四肢体幹の障害						整形外科学
2	10月12日	四肢体幹の障害						整形外科学
3	10月19日	四肢体幹の障害						整形外科学
4	10月26日	外科学 (損傷・熱傷)						外科学概論
5	11月2日	外科学 (ショック)						外科学概論
6	11月9日	外科学 (感染症)						外科学概論
7	11月16日	J 3 第 4 回模擬試験						外科学概論
8	11月30日	外科学 (輸血・輸液)						外科学概論
9	12月7日	外科学 (腫瘍)						外科学概論
10	12月14日	外科学 (手術・移植)						外科学概論
11	12月21日	外科学 (頭部外傷)						外科学概論
12	1月11日	外科学 (頭部外傷)						外科学概論
13	1月18日	外科学 (胸部外傷)						外科学概論
14	1月25日	外科学 (胸部外傷)						外科学概論
15	2月1日	まとめ						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復術の適応		授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	損傷に類似した症状を示す疾患など					
到達目標	<p>柔道整復術は、その適否の判断が大変重要である。</p> <p>その的確な判断と他の医療関係者との連携は、柔道整復師に求められているものである。</p> <p>種々の疾患の鑑別、柔道整復術の適応について学び、診療に活かせるようにする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書は、南江堂の「医療の中の柔道整復」（全国柔道整復学校協会監修）を使用。</p> <p>他に必要な資料を適宜、プリント等で配布する。</p>					
単位認定方法	<p>出席と試験が基本。</p> <p>他に必要に応じて、レポート提出。</p> <p>出席は授業実施時数の3分の2以上とする。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	埼玉医科大学東洋医学科講師・診療部長、医学博士					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復術の適応			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	柔道整復術の適否を考える						
2	10月20日	損傷に類似した症状を示す疾患						
3	10月27日	損傷に類似した症状を示す疾患						
4	11月10日	損傷に類似した症状を示す疾患						
5	11月17日	病的骨折および脱臼						
6	11月24日	病的骨折および脱臼						
7	12月1日	意識障害を伴う損傷						
8	12月8日	意識障害を伴う損傷						
9	12月15日	脊髄症状のある損傷						
10	12月22日	脊髄症状のある損傷						
11	1月5日	呼吸運動障害を伴う損傷						
12	1月12日	内臓損傷の合併が疑われる損傷						
13	1月19日	高エネルギー外傷						
14	1月26日	高エネルギー外傷						
15	2月2日	総括						

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	病理学概論			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年度	3 学年	時間数（単位数）	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>疾病の原因、経過、本態、疾病の鑑別、治療効果などについて、細胞、組織、臓器などの形態の変化（形態学）を主な対象として学習する。</p>						
到達目標	<p>柔道整復師国家試験に対応できる病理学の知識を習得する。 臨床医学に応用可能な病理学の知識を習得する</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 『病理学概論 改訂第3版』 配布資料（プリント）</p>						
単位認定方法	<p>試験に基づき評価を行う。</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>博士（医学）、大学教員</p>						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		病理学概論			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	病理学とは、疾病の一般						
2	4月19日	細胞障害（退行性病変、代謝障害）						
3	4月26日	細胞障害（退行性病変、代謝障害）						
4	5月10日	循環障害						
5	5月17日	循環障害						
6	5月24日	進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応						
7	5月31日	進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応						
8	6月7日	炎症						
9	6月14日	炎症						
10	6月21日	免疫異常、アレルギー						
11	6月28日	免疫異常、アレルギー						
12	7月5日	腫瘍						
13	7月12日	腫瘍						
14	7月19日	腫瘍						
15	8月2日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		病理学概論			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	腫瘍						
2	10月11日	腫瘍						
3	10月18日	腫瘍						
4	10月25日	先天性異常						
5	11月1日	先天性異常						
6	11月8日	先天性異常						
7	11月15日	病因						
8	11月22日	病因						
9	11月29日	病因						
10	12月6日	病因						
11	12月13日	国家試験対策						
12	12月20日	国家試験対策						
13	1月17日	国家試験対策						
14	1月24日	国家試験対策						
15	1月31日	国家試験対策						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 3		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	45	時間 ・ 1 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し 患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <p>2 年次より開始した学外での救護活動による実習に加え、施術録や紹介状についても学ぶ。</p> <p>救護活動を通して実際のケガや対応について実践し学ぶ。</p> <p>施術録や紹介状の記載、療養費の仕組みについて座学で学んだ内容をもとに 実際の療養費請求の仕組みなどについても言及する。</p>					
到達目標	<p>業務を理解し自主的に行動する。</p> <p>レセプト、紹介状などの基本的理解。</p> <p>施術録の記載について理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編</p> <p>柔道整復学・実技編</p> <p>臨床実習ガイドライン</p>					
単位認定方法	<p>業務範囲や保険制度を理解している。</p> <p>診療録を理解できる。</p> <p>医接連携に基づく紹介・返書・対応を理解する。</p> <p>患者の背景や社会環境に配慮できる。</p> <p>生涯学習に取り組める。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 7	授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>介護保険制度、認知症、運動器障害など超高齢社会といわれている中で、 機能訓練指導員としての柔道整復師に必要な知識および現状を知る。 また、トレーナー活動を行うにあたり競技者のコンディショニング、外傷予防についてを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現在の柔道整復師に求められているものが何かを考え、国家試験後に必要となる知識を身につける。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	<p>『競技者の外傷予防』 公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修 小林直行・高橋康輝著 『柔道整復師と機能筋連指導員』 公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修</p>				
単位認定方法	<p>下記〔成績評価方法基準〕を満たした学生に単位を認定する。</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 グループワークでの評価（飯能市地域包括支援センターによる講義・グループワーク） 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可） 単元ごとのテスト及び期末試験の合計点の平均が60%以上</p>				
教員実務の 経験	<p>柔道整復師 専科教員 接骨院勤務 飯能市地域包括支援センターより講師派遣</p>				

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 7			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	柔道整復師と介護保険						配布資料
2	4月15日	介護の過程、高齢者介護とICF						配布資料
3	4月22日	運動器障害、転倒予防						配布資料
4	5月6日	高齢者自立支援の理解						配布資料
5	5月13日	機能訓練指導員						配布資料
6	5月20日	認知症						配布資料
7	5月27日	認知症サポーター養成講座（グループワーク）						
8	6月3日	外傷予防(概説)						教科書
9	6月10日	メディカルチェック、コンディショニング						教科書
10	6月17日	コンディショニングの実際と方法						教科書
11	6月24日	体幹部、肩関節の外傷予防						教科書
12	7月1日	足関節、膝関節の外傷予防						教科書
13	7月8日	成長期の外傷予防						教科書
14	7月15日	まとめ						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2022 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 6		授業形態	実技	担当教員	櫛渕 和真
配当年次	3 学年	時間数（単位数）	60	時間・2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>一般臨床の各論、総論について復習を行う。</p> <p>異常な状態を知るには、正常な状態を理解していないとわからない為、各論で必要な生理学についても復習を行う。</p>					
到達目標	<p>国家試験合格に必要な知識の習得、生理学との結び付け作業を行う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>一般臨床医学；公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修</p> <p>生理学；公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修</p> <p>病気がみえるシリーズ；メディックメディア（参考資料）</p>					
単位認定方法	<p>下記「成績評価方法基準」を満たした学生に単位を認定する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師 専科教員 接骨院勤務</p>					

2022 年度 柔道整復学科

授 業 内 容 日 程 表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	各論 神経疾患						教科書、配布資料
2	4月19日	各論 神経疾患						教科書、配布資料
3	4月26日	各論 神経疾患						教科書、配布資料
4	5月10日	各論 膠原病						教科書、配布資料
5	5月17日	各論 膠原病						教科書、配布資料
6	5月24日	各論 循環器疾患						教科書、配布資料
7	5月31日	各論 循環器疾患						教科書、配布資料
8	6月7日	各論 血液・造血器疾患						教科書、配布資料
9	6月14日	各論 血液・造血器疾患						教科書、配布資料
10	6月21日	各論 消化器疾患						教科書、配布資料
11	6月28日	各論 消化器疾患						教科書、配布資料
12	7月5日	各論 消化器疾患						教科書、配布資料
13	7月12日	各論 腎・尿路疾患						教科書、配布資料
14	7月19日	各論 腎・尿路疾患						教科書、配布資料
15	8月2日	試験返却・試験解説						

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日 付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月4日	各論 内分泌疾患						教科書、配布資料
2	10月11日	各論 内分泌疾患						教科書、配布資料
3	10月18日	各論 内分泌疾患						教科書、配布資料
4	10月25日	各論 呼吸器疾患						教科書、配布資料
5	11月1日	各論 呼吸器疾患						教科書、配布資料
6	11月8日	各論 呼吸器疾患						教科書、配布資料
7	11月15日	各論 感染症						教科書、配布資料
8	11月22日	各論 感染症						教科書、配布資料
9	11月29日	総論						教科書、配布資料
10	12月6日	総論						教科書、配布資料
11	12月13日	総論						教科書、配布資料
12	12月20日	総論						教科書、配布資料
13	1月17日	総論						教科書、配布資料
14	1月24日	総論						教科書、配布資料
15	2月7日	J 3 卒業発表						